

青少年体験・チャレンジ活動

1 中央公民館

子ども能楽教室

(1) ねらい

- ①伝統文化を継承し、将来を担う国際人材を育む。
- ②学校と連携を図ることで、地域に根付いた学びの場の充実を図る。

(2) 対象等

対象：城東小学校 6 年生

周知方法：学校との調整のためチラシ等は作成していない。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/29(水) 13:45~15:20	「子ども能楽教室」	体験	観世流能楽師 下平 克宏 観世流能楽師 大槻 崇充 群馬地域学研究所 手島 仁	51

観世流能楽師下平克宏氏の指導のもと、太鼓や謡い等の体験や装束の解説・演能を通して、日本の伝統文化に親しむ。

(4) 評価と反省

本庁管内を対象にした子ども能楽教室は、城東小が5校目の開催となる。

児童に日本の伝統文化である「能」について学習してもらい、伝統芸能の継承、将来を担う国際人育成に繋いでいく事を目的にしており、日頃馴染みのない能に触れる良い機会となった。始めに手島氏が能の歴史や子ども演能について解説し、その後、下平氏による太鼓、謡い等のワークショップや、能の実演等を行った。子どもたちは非常に興味を持った様子であった。



能面を着けてもらっている様子



演目「土蜘蛛」の演能

アトリエめいじゅ・絵画の宿題を完成させよう！

(1) ねらい

- ①子どもの頃から親しめる公民館づくりの推進
- ②児童と明寿大学生による世代間交流の場を提供する
- ③子どもたちの学習意欲の向上を図る

(2) 対象等

対象：市内在住の小学生1年生から6年生までの児童

周知方法：広報まえばし、HP、中央公民館だより

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/7（月） 10:00～12:00 延長希望者は 15:00 まで	「アトリエめいじゅ」	実習	明寿大学絵画クラブ 講師 疋田由利子 クラブ生 9名	45

(4) 評価と反省

講座当日は45名という多くの児童が参加したが、明寿大学生の協力もあり、滞りなく終わることができた。参加者の約8割が延長を希望し、501 学習室で昼食を食べ終わった後は、児童の希望もあり、予定時間を少し早めてアトリエに戻って作業を開始した。「ポイントを教えてもらって上手な絵が完成したのでよかった」「絵をかくのが楽しかった」という声も多く寄せられた。

また、学生からは「子供達に教えると共に自分自身の勉強にもなった」「次回も協力したい」「子供達に少しでも力になればよかったと思っています」等のお声をいただき、学生自身にとっても大変有意義な活動となった。



講師の説明を熱心に聞いている様子



明寿大学の学生が教えている様子

中公書初め塾

(1) ねらい

- ①習字技術の向上
- ②世代間交流・集団学習を通してのコミュニケーションの向上

③公民館利用団体の学習の還元

(2) 対象等

対象：市内小学3年生から6年生までの児童

周知方法：中央公民館だより、HP、本庁管内8小学校宛てにチラシをタブレット配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/26(火) 10:00～正午	「中公書初め塾」	実習	すみれ書道会(5名) 釣寿書会(5名) 明翠会(5名)	30

(4) 評価と反省

令和元年以降、四年ぶりの開催となった、「中公書初め塾」は中央公民館の利用団体である「すみれ書道会」「釣寿書会」「明翠会」の3団体に各5名ずつ、講師を引き受けていただき無事開催することが出来た。参加した児童は、熱心に指導に耳を傾け、最後まで集中して取り組み立派な書を書き上げた。児童のアンケート結果では、講師の優しく丁寧な指導に満足する声が多かった。

今年度は本庁管内の小学校を中心に募集を行ったため、35名の応募にとどまったが、指導をする上ではこのくらいの人数がちょうどいいのではとの講師の意見もあった。

児童のアンケートにもあったように、家では集中して書初めができないなどの意見もあったため、今後も広いホールで行う「中公書初め塾」を開催していければと思う。



先生に教わる様子



自信作を持って集合写真

2 上川淵公民館

ウクライナ料理教室

(1) ねらい

- ①子どもたちの好奇心や生きる力を養う。
- ②心身ともに健やかに育つための学習する場を提供する。
- ③子どもたちが他の国について知り理解する心を育む場とする。

(2) 対象者

上川淵地区内の小学生以上の子とその保護者

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	5/13（土） 9:30～12:00	ウクライナ料理教室	調理実習	前橋市地域づくり協力隊 フォードロフ・パーベル 他ウクライナ人学生2名	10

(4) 評価と反省

地域づくり協議会食育部会との共催で、ウクライナの文化を知るため、ロシア出身のパーシャさんとウクライナの留学生2名を講師に迎え、料理教室を開催した。

地域づくり協議会が収穫した上川淵産の玉ねぎを使用してボルシチを作ったが、丁寧な指導により、小学生でも本格的な料理を作ることができた。

参加した方に聞くと、はじめてボルシチを食べたという方がほとんどで、野菜が多く入る料理にもかかわらず、子どもも喜んで食べている様子が見られた。

今回の講座で、海外の方との交流を図る経験をした小学生が、世界への意識を高めるきっかけになったと考える。

反省点としては講師との打ち合わせが足りず、配布資料のレシピと実際に作る内容が少し違っていたため参加者が混乱してしまっていたため、今後は講師との打ち合わせを綿密に行い、レシピの再確認を行うなどしたうえで開催したい。



講師による指導の様子



留学生との交流の様子

小学生まなび体験講座

(1) ねらい

- ①体験・チャレンジ活動」の場を提供し、次代の新たな担い手となる子どもたちの好奇心や生きる力を養う。
- ②心身ともに健やかに育つための学習する場を提供する。
- ③子どもたちが仕事について考える機会とすることでキャリア教育の一環とすること。

(2) 対象者

上川淵地区内の小学生※8/6のみ親子

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/29（土） 10:00～11:30	キッズエンジニア教室	講義 実習	群馬トヨペット	15
2	7/30（日） 10:00～11:30	鉄道講座	講義	群馬県出前講座 糸井 秀幸	7
3	8/5（土） 10:00～11:30	薬剤師さんの仕事を学ぼう	講義 実習	日本調剤薬局 管理栄養士2名 薬剤師4名	10
4	8/6（日） 10:00～12:00	ソーラークッカーを作ろう	講義 実習	地球温暖化防止活動推進 センター 奈賀 由香子	15

(4) 評価と反省

夏休みの小学生を対象に、体験を主とした講座を開催した。

キッズエンジニア教室と薬剤師体験では、実際に仕事で使用している機材などを用いて体験することで、楽しみながらも自分の未来（仕事）を考える機会となったようで、参加した子から「またやってもらいたい」との声を多く聞くことができた。

鉄道講座は座学で専門性の高い内容であったにも関わらず、積極的に質問をする様子もみられ、非常に満足度の高い講座とすることができた。

4回目は、親子で地球温暖化防止について学び、協力してソーラークッカーを作成する内容となったが、保護者のアンケートで満足度100%をいただくことができ、親子での工作体験の人気の高さと、地球環境問題への意識の高さを伺える結果となった。

参加者が少数となっても、小学生にとって興味のあることを提供することは、夏休みが有意義なものとなるために必要なことであることから、今後も公民館としての役割を果たしていきたい。



キッズエンジニア教室



薬剤師体験



鉄道講座



ソーラークッカー作成

中学生対象講座

(1) ねらい

- ①学びたい意欲はあるものの塾に通えない家庭の受け皿とする。
- ②中学校と連携し、地域で子どもを見守る機会とする。
- ③中学生が公民館を身近に感じるきっかけの場とする。
- ④コミュニティ・スクールの取り組みの一環とする。

(2) 対象者

前橋市内の中学生

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/28(土) 10:00～12:00	英検3級(二次試験)対策講座	講義	広瀬一・二丁目南部自治 会長 武居 宏幸	5

(4) 評価と反省

英検3級の2次試験が面接で行われるため、個々の習熟度に合わせ、実際の面接に近い形となるような講座内容とした。

中学生を対象にした講座は参加者を集めることが非常に難しく、当初は上川淵地区内の中学生を対象としていたが、申し込みがなかったため、全市に広げて募集を行うこととなった。

また、地区内の中学校との連携を求められているものの、小さな講座では中学校からの協力は難しく、今後の課題となった。



講師による指導の様子



面接形式で開催

脱穀粃摺り体験講座

(1) ねらい

- ①地域の中の歴史的資料を知る機会とする。
- ②昔の生活を体験する。
- ③世代間交流をはかり、地域で活動する大切さを知る。

(2) 対象者

上川淵地区内の小学生

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/2（土） 10:00～11:30	わくわく！お米の大冒険 ～脱穀粃摺り体験と資料館体験～	実技	郷土民俗資料館 館長 高橋 喜紀 支援員 佐藤 明人 他ボランティア 3 名	10

(4) 評価と反省

郷土民俗資料館を会場にして、精米方法や昔の生活を知る機会として開催。

郷土民俗資料館の支援員さんとボランティアの方々が講師となり、昔の脱穀機や粃摺り機を使って精米を体験した。脱穀されたお米を真剣に集めている子どもたちの様子から、お米一粒の大切さを学ぶことができたと思う。

講座の後半には、郷土民俗資料館の見学を行い、蓄音機での音楽鑑賞や上川淵地区の歴史などを学んでいた。

今回は外で脱穀や粃摺りの体験を行ったが、天気の良い日であったため問題はなかったが、天気によっては難しいため、同じような内容での開催を企画する場合は、日程を考慮して行いたい。



扱摺りの様子



資料館見学

こどもプログラミングチャレンジ

(1) ねらい

- ①小学生が自らのアイデアを実現し創造的な成果を得る。
- ②将来の仕事に役立つスキルの一つとして学び、キャリアの可能性を広げる。
- ③小学生にとって公民館が身近な場所となる機会とする。

(2) 概 要

上川淵地区内の小学生

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/10（日） 13:30～15:00	こどもプログラミング チャレンジ～未来のエ ンジニアを育てよう～	講義	上川淵公民館 主任 長岡 祐樹	5

(4) 評価と反省

小学校から貸与されているタブレットを使用し、ゲームをしながらプログラミングを学ぶ内容で実施。

学校でタブレットを使用しているため、プログラミングに必要な操作や検索など問題なく取り組めたため、予定より早く進めることができた。

小学生にとっても興味深い分野でもある今回のプログラミング講座は、学年を指定したため参加人数こそ少なかったものの大変好評であったため、他の学年を対象にした講座も開催したい。



職員による指導の様子



タブレット操作の様子

プラネタリウムがやってくる！

(1) ねらい

- ①宇宙について探求し、科学や天文学への興味を深める。
- ②宇宙に関する知識を身につけることで、将来のキャリアの可能性を広げる。
- ③小学生にとって公民館を身近に感じてもらう機会とする。

(2) 概 要

上川淵地区内の小学生以上の子とその保護者

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	2/3（土） ①13:00-13:40 ②13:40-14:20 ③14:20-15:00	プラネタリウムがやってくる！	体験	ぐんまこどもの国児童会館職員	25

(4) 評価と反省

ぐんまこどもの国児童会館の「移動プラネタリウム」を利用したもの。

コロナやインフルエンザの流行期と重なったことで、予定より少ない人数での実施となったが、プラネタリウムのドーム内で横になりながら鑑賞する姿も見られるなど、親子でゆったりとした時間を過ごすことができていた。

図書館にも協力依頼を行い、星関連のコーナーを設置いただくなど、講座だけで終わることがないよう工夫を凝らした上、上映内容も本格的であったことから、家に帰って星空を見たいとの声を聞くことができた。

今回の体験を通して星について学び、宇宙への好奇心を育む良い機会になったと考える。



プラネタリウムのドーム



ドーム内での上映（講師と機材）

3 下川淵公民館

インリーダー講習会

(1) ねらい

- ①課外活動を通し、こども会リーダーとして期待される会員（小学生）のリーダーシップ育成を図ること。
- ②地域のこども会活動の育成・推進を図ること。

(2) 対象等

対象：下川淵地区こども会会員（小学4年生以上）

周知方法：各単位育成会へのチラシ配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	6/17（土） 10:30～11:30	・KYTトレーニング ・室内レクリエーション	講義 実習	市子連	7

(4) 評価と反省

コロナ禍で中止になっていたインリーダー講習会を4年ぶりに開催した。今までは、インリーダー講習会はKYT、カレー作り、バルーンアート作りの三本柱で行っていたが、今年は様々な状況を鑑み、カレー作りは実施しないこととし、役員の負担を減らすため、各町役員の動員も行わなかった。集まった参加者は少人数だったが、その分講師が一人一人に丁寧に対応することができ、参加者の満足度も高いものとなった。本部役員も一緒に参加し、全員で作り上げるインリーダー講習会になったと感じる。



KYT トレーニングの様子



室内レクリエーションの様子

下川淵こども体験教室【夏休み】

(1) ねらい

- ①昨今減少傾向にある「体験・チャレンジ活動」の場を提供し、次代の新たな担い手となるこどもたちの好奇心や生きる力を養うこと。

- ②地域の人材を活用し、知識の地域還元を図ること。
- ③こどもたちが学校とは異なる集団学習において、集中して学習する機会とし、自ら学ぶ姿勢を身に着けること。
- ④地域企業のスタッフから直接話を聞き、職業体験をすることで、こどもたちの視野を広げ、職業観を育むと同時に郷土愛を育む一助とすること。

(2) 対象等

対象：やさしいプログラミング教室 小学生15人

みんなで描こう！絵画教室 小学1年生～2年生10名

みんなで描こう！絵画教室 小学3年生～6年生10名

ショップ店員のお仕事を体験しよう！ 小学4年生～6年生6名

ショップ店員のお仕事を体験しよう！ 小学4年生～6年生6名

書いてみよう！読書感想文教室 小学3年生～6年生15名

こども薬剤師体験 小学生15名

周知方法：館内掲示・近隣小学校へのチラシ配信

(3) 内容

やさしいプログラミング教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/24（月） 10:00～12:00	プログラミングソフトを操作してゲームを作成する「プログラミング教室」	講義 実習	特定非営利活動法人 教育支援協会北関東	8
2	7/25（火） 10:00～12:00				8

みんなで描こう！絵画教室（小学1年生～2年生）

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/29（土） 9:00～12:00	みんなで夏休みの宿題の絵を描く「絵画教室」	実習	岡本 美由貴 大学生ボランティア 1人	9

みんなで描こう！絵画教室（小学3～6年生）

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/30（日） 9:00～12:00	みんなで夏休みの宿題の絵を描く「絵画教室」	実習	岡本 美由貴 大学生ボランティア 1人	9

ショップ店員のお仕事を体験しよう！

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/1（火） 9:00～12:00	ショップ店員の仕事を体験する職場体験	講義 実習	ユニクロ前橋南インター店スタッフ	7
2	8/3（木） 9:00～12:00				6

書いてみよう！読書感想文教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/5（土） 10:00～11:30	みんなで宿題の読書感想文を書く「読書感想文教室」	講義 実習	清水 誠 大学生ボランティア 1人	5

こども薬剤師体験

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/8（火） 10:00～11:30	薬剤師の仕事体験	実習	日本調剤 前橋日赤前薬局	15

（４）評価と反省

やさしいプログラミング教室（２日間連続）

この講座は、２日間の連続講座として開催した。こどもたちは、分からないところを講師にききながら、熱心に集中して取り組むことができた。やったことのある子は、ミニ講師として、分からない子に教えてくれて、交流することもできた。２日目にはお互い打ち解けた様子で教え合う姿もみられ、みな自分のゲームをつくることができた。プレゼンテーションタイムでは、みな出来上がったゲームの頑張ったところや気に入っているところなど、満足した様子で発表している姿が印象的だった。

みんなで描こう！絵画教室（小学１年生～２年生）

こどもたちは、熱心に集中して取り組むことができた。講師は、時間中ずっとこどもたちのところに回りながらアドバイスをしてくれていたのも、こどもたちは、わからないところをすぐ講師にきくことができていた。また、今年は大学生ボランティアが１人来てくれて、こどもたちにアドバイスをして回ってくれたので、更に細やかな対応ができた。家庭や学校とは違う環境で集中する機会が持てて良かったと感じた。

みんなで描こう！絵画教室（小学３～６年生）

こどもたちは、熱心に集中して取り組むことができた。講師がアドバイスをしてまわっていたので、順調に描くことが出来ていたようだった。大学生ボランティアもこどもたちにアドバイスをして回ってくれていたのも、講師のみで実施するより一層、きめ細やかな対応が出来たようだった。早く終わった子もいたが、それぞれ待っていることができた。家庭や学校とは違う環境のなかで、集中して絵を描く良い体験となったようだ。

ショップ店員のお仕事を体験しよう！

キャリア教育の一環として、地域の「ユニクロ前橋南インター店」に協力いただき、職場体験を実施した。１回で受け入れられる人数が限られており、講座の受け入れ人数を確保するため同じ内容で２回実施した。身近な店舗での体験だったので、こどもたちは３時間熱心に、きちんと職業体験を行うことがで

きた。講師から、接客における心構えや企業の考え方などについて説明があり、職業について考えるきっかけとなった。さらに洋服のリサイクルの重要性についても説明があり、皆、興味を持って聞くことができた。

書いてみよう！読書感想文教室

今年は、小学生5名の参加者を講師と大学生ボランティア1名で指導した。講師及び大学生ボランティアが熱心に指導してくれたこともあり、こどもたちは、集中して取り組むことができた。1時間半の時間内では感想文の完成には至らない児童も多かったが、積極的に講師とコミュニケーションを取る様子も多く見られ、熱心に取り組むことができた。また、調査や家族への聞き取りなどを実施後に書くと、よりよくなる等のアドバイスを講師から受けて、家に帰ってから感想文を完成させることになった子もいた。今回は、講座の申込をしていたがキャンセルとなった子も多くいたのが残念だった。コロナが5類となり、再開されてきた地域行事と重なったこともキャンセルの要因と推察される。今後は、地域行事の予定等も考慮したうえで日程を決めていくことも必要と感じた。

こども薬剤師体験

キャリア教育の一環として(株)日本調剤前橋日赤前薬局の協力をいただき、薬剤師の職業体験を実施した。参加者は、薬の服用はしたことがあるが、薬剤師の仕事にはなじみがないようで、皆興味をもって、真剣に取り組んでいた。お菓子を薬に見立て、水剤、軟膏、錠剤の調剤体験を3班にわかれて実施し、お薬のお渡しまで一通り体験した。また、錠剤は、分包機を動かして、3日分に分け、薬の飲み間違いがおこらないよう調剤することも体験した。講師の方も熱心に指導してくれていた。参加したこどものアレルギーの対応については、アレルギーがあっても、さわるのは大丈夫な参加者について、体験時は皆と同じ内容で実施したが、体験後に家に持ち帰った際に事故の無いよう、アレルギー対応の持ち帰り用お菓子で調剤したものと取り替える等の細やかな対応をいただいたことに感謝したい。今回、薬剤師のお仕事の一部を体験したことで、職業について考えるきっかけとなった。



やさしいプログラミング教室の様子



絵画教室（1～2年生）の様子



絵画教室（3～6年生）の様子



ショップ店員のお仕事体験の様子



読書感想文教室の様子



こども薬剤師体験の様子

「前橋南高校クリスマスコンサート」

（１）ねらい

- ①前橋南高校生徒の主体性と自主性を尊重したイベントを開催することにより、公民館活動や地域貢献に対する関心や参加意欲を高める。
- ②地域にある高校の生徒の演奏会を通じて、こどもから年配の方までが公民館に集まり、楽しむことで地域づくりの一助とする。

（２）対象等

対象：（出演者）前橋南高校生、（観客）地区住民等

周知方法：館報掲載、回覧、チラシ

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/24（日） 14:00～14:45	クリスマスコンサート	企画 演奏	前橋南高校 吹奏楽部 24 名 顧問 1 名	観客 119

（４）評価と反省

高校生のチャレンジ活動として、企画、選曲、パンフレット作成、会場準備と片付け、司会進行など高校生の自主性に任せて実施した。公演は1回として、

観客は当日も含めて申し込みのあった人にできるだけ聴いていただけるようにした。自主グループ連協本部役員にも運営の支援をいただいた。

生演奏のコンサートは、地域の方からも喜んでいただけて、高校生たちも嬉しく感じていた。今後は冬のコンサートに限らず、機会をとらえて前橋南高校生と地域の交流活動を進めていきたい。



高校生の司会進行の様子



高校生が作成したプログラムと
観客への手書きのメッセージカード

下川淵こども体験教室

「チョコチップスコーンをつくろう！」

(1) ねらい

- ①昨今減少傾向にある「体験・チャレンジ活動」の場を提供すること。
- ②次代を担うこどもたちの好奇心や創作心・生きる力を養うこと。
- ③講座をとおして小学生が公民館に集う機会とすること。
- ④自分のおやつを作る体験をとおしてチャレンジ精神を養うこと。

(2) 対象等

対象：小学生とその保護者 8組16人

周知方法：館報掲載、館内掲示、近隣小学校にチラシ配信

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	2/23（金・祝） 9:00～10:30	チョコチップスコーンをつくろう！ メニュー 「チョコチップスコーン」	実習	笛木 京子	9

(4) 評価と反省

手づくりのおやつとしてチョコチップスコーンを作ったが、出来上がったスコーンを嬉しそうに持ち帰り袋に入れている様子が印象的だった。また、違うお菓子を作ってみたいという声もあった。いつもは購入することの多いスコーンを自分で作ることが出来、参加したこどもたちの自信につながったようで、

今後の生活に生きる内容となったと思う。今回のチョコチップスコーン作りをとおり、「自分でやってみたい」というチャレンジ精神養うきっかけとなったようで良かった。また、今回はお父さんの参加もあり、親子で楽しそうにスコーン作りの作業をされていて保護者からも好評だった。



講師の説明を聞く様子



スコーン作りの様子

下川淵こども体験教室

みんなで社会科見学「コストコ探検に行ってみよう！」

(1) ねらい

- ①地域にある施設を見学し、直接話を聞く機会とすること。
- ②地域を知ることにより地元への愛着を持つこと。
- ③同じ体験をすることで親子のコミュニケーションを深めること。

(2) 対象等

対象：小学生とその保護者 10組20人

周知方法：館報掲載、館内掲示、近隣小学校にチラシ配信

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/3（日） 8:30～10:00	コストコ見学に行ってみよう！	実習	コストコホールセール 前橋倉庫店スタッフ	9

(4) 評価と反省

地域にある施設を見学し、直接話を聞く機会を作ることで、地域を知り愛着を持つきっかけとなるよう、「コストコホールセール前橋倉庫店」の見学を実施した。開店前から見学を開始したため、開店準備の様子なども見ることができた。店内の見学ではコーナーごとに説明を聞き、その都度疑問に思ったところは講師に質問した。

今後も、積極的に地域の施設を見学する機会を設けていきたい。



調理室見学の様子



売り場見学の様子

4 芳賀公民館

親子で新じゃが掘り体験

(1) ねらい

- ①家庭ではなかなかできない屋外での収穫体験を通し、地域に親しみを持ち自然に感謝する心を養う。
- ②共通の体験を通じて、親子の交流や子ども達の新たな仲間づくりの場を作る。
- ③自ら収穫したじゃがいもを、自ら調理することで、健全な食生活を行う能力を身につける。

(2) 対象等

対象：市内在住の小学生と保護者

周知方法：チラシを芳賀小学校へタブレット配付、ホームページ、公民館報及び給食だより（北部共同調理場）に掲載

産直「味菜」のじゃがいも畑を借用した収穫体験を赤城山ろく里山学校事業として実施。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	6/24（土） 10:00～11:00 （2部制）	じゃがいもの収穫体験	体験	農事組合法人 味菜	69

(4) 評価と反省

昨年度同様に日よけ用のテント設置、熱中症予防グッズの用意等の熱中症予防対策を講じつつ、天気予報より、降雨及び熱中症アラート発令の可能性が低

いことから、当初の予定通りのタイムスケジュールで開催した。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更になったことにより、マスク着用については個人の判断に委ねつつ、参加者の分散を図るため、2部制を引き続き導入し開催した。

あいのやまの湯北駐車場で受付けして、畑まで徒歩で移動としたが、過去に駐車場が分かりづらいとの意見があったことから、昨年度に引き続き案内表示を分かりやすく配置した。また、今まで当該事業で使用していた芋掘りホークについて、子どもが使用するには危険性が高いことから、スコップに変更し安全性の確保に努めた。

講師からは、作付けしてある2種類のじゃがいも（男爵、キタアカリ）についての特色や調理方法の説明をしていただいた。また、日が当たってしまい緑色に変色しているじゃがいもは、有害であるため持ち帰らないように注意を促していただいた。

じゃがいもの成長が比較的良く、掘り出してみると大きな実がゴロゴロできて、参加者の満足度は高かったと思われる。また、収穫したじゃがいもを家庭に持ち帰って、親子で調理していただくように「じゃがいも料理レシピ」を参加者へ配付し食育推進を図った。

降雨の心配をしながらの開催であったが、近年は梅雨時期でも異例の猛暑になることがあることから、今後も熱中症対策を十分に講じながら開催していきたい。また、開催時間についても時間を早めて実施するなど、熱中症のリスクを少しでも軽減できるよう農事組合法人と調整を図りながら、開催していきたい。



夏休みチャレンジ教室

（１）ねらい

- ①夏休みを利用して、学校や家庭とは違った環境で子ども達が集まる機会を設け、学年の枠を超えた交流を図る。
- ②体験や学習をとおり、集中力・自主性・豊かな感性を養う。

(2) 対象等

対象：市内在住在学の小学生

周知方法：チラシを芳賀小学校へタブレット配付、ホームページ及び公民館報に掲載

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/26（水） 9:30～11:30	木工教室	実習	厚生労働省ものづくりマイスター 星の家具 代表 星野 弘	9
2	7/31（月） 9:30～11:30	絵画教室①	実習	小鮎 祐臣	18
3	8/9（水） 9:30～11:30	絵画教室②			15
4	8/10（木） 10:00～11:30	こども電気教室	実習	一般財団法人 関東電気保安協会 群馬事業本部	11

(4) 評価と反省

木工教室では、普段使ったことのない電動ドリル、金づち、ノコギリ等の工具に戸惑いながらも、楽しそうに作業に取り組んでいた。アンケートでは、今回の教室に参加して「とてもよかった」と回答した参加者が9人中8人、「よかった」と回答した参加者が1人で、参加者にとって非常に満足度の高い教室であったため、次年度も開催したい。

また、厚生労働省ものづくりマイスター派遣事業に絡めて実施できたため、アシスタントが充実していたこともあり、高度な技術を要する作業も親切丁寧なサポートがあり、低学年でも楽しく活動でき作品の完成度も高かった。アンケートでも自由意見欄に「そうぞうよりもいいさくひんができた」「人をつくるときせんせいのおかげでよくできた」等の意見があり、充実したサポートの中で実施できたことが参加者の感想からも窺うことが出来た。

絵画教室は、毎年開催している宿題応援教室で、たくさんの小学生が参加してくれた。学習時間が2時間と限られた時間の教室であるため、予め下書きをしてくるよう申込時に案内し、色塗りから始めて時間内に宿題を仕上げることを目標にした。

先生から「焦らずに丁寧に描きましょう。」と説明があったが、参加した多

くの子は、時間内に色塗りを仕上げていた。中には、11時30分になっても仕上がらない子もいたが、12時頃まで頑張って仕上げようとしていた。

先生からアドバイスをもらいながら、いくつかの種類の絵の具を混ぜて塗りたい色を作ったり、色のはみ出してしまったりした場合の処置の仕方など、一人ではなかなか解決することが難しいことも教わりながら作業に取り組んでいた。アンケートでは、参加者33人中32人から回答を得ており、今回の教室に参加して「とてもよかった」と回答した参加者が27人、「よかった」と回答した参加者が5人で、参加者にとって非常に満足度の高い教室であった。

今回の教室の申込みにおいても、早々に定員に達し募集を締め切るほど人気で定番化している教室なので、次年度も開催したい。

こども電気教室では、まずトラッキング現象等の電気の危険性及び省エネ等に役立つ電気の正しく安全な使い方の映像をプロジェクターで映写しながら学び、その後レモン電池の実験を行った。

アンケートでは、今回の教室に参加して「とてもよかった」と回答した参加者が11人中9人、「よかった」と回答した参加者が2人で、参加者にとって非常に満足度の高い教室であった。自由意見欄からも「楽しかった」という意見が多く、「電池のことを色々知れた」、「レモン以外のいろいろな野菜でも試してみたい」といったような意見もあり、楽しみながら電池の仕組みの理解を深め、参加者の好奇心を掻き立てるような非常に有意義な開催であった。



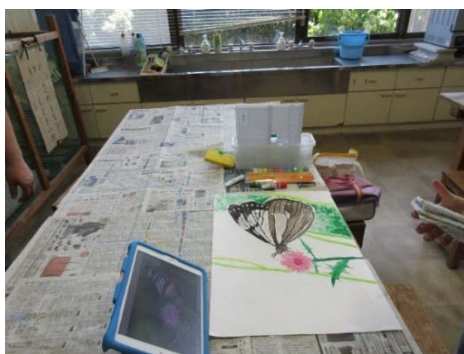
木工教室の様子



木工教室の作品



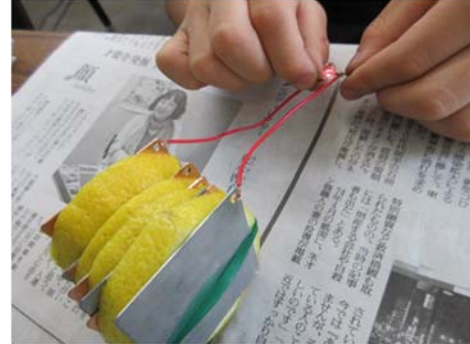
絵画教室の様子



絵画教室の作品



こども電気教室の様子（座学）



こども電気教室の様子（実験）

冬休みチャレンジ教室

（１）ねらい

- ①冬休みの宿題（書初め）を仕上げる。
- ②冬休みを利用して、学校や家庭とは違った環境で子ども達が集まる機会を設け、学年の枠を超えた交流を図る。
- ③地域の指導者に講師を依頼することで、地域の世代間交流を図る。

（２）対象等

対象：市内在住在学の小学生（３～６年生）

周知方法：チラシを芳賀小学校へタブレット配付、ホームページ及び公民館報に掲載、地区内の学童保育でチラシ配布

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/26（火） 10:00～12:00	書初め教室	実習	元毛筆愛好会会員 4人	17

（４）評価と反省

例年、書初め教室の講師依頼をしていた自主学習グループの毛筆愛好会は、令和５年３月３１日をもって解散したが、引き続き毛筆愛好会会員だった方々に講師依頼をし、書初め教室を開催した。この教室は、地元に住居する講師の方々と子どもたちの間で世代を超えた交流ができるとても良い機会になっている。

参加者は、最初に講師から書く時の姿勢や筆の持ち方を教わり、書きながら「とめ」「はらい」「はね」などの実践的なアドバイスを受け、書初めに取り組んでいた。２時間という短い時間ではあったが、講師のアドバイスで少しずつ上達していく様子が見られた。

学校や家庭とは違った環境であることや書道作品を公民館に展示すること

を事前に伝えていたことから、参加者は短時間で集中して書初めに取り組むことができたと思われる。



書初め教室の様子



書道展の様子

5 桂萱公民館

桂萱サマーチャレンジスクール

(1) ねらい

- ①夏休みの間に、子ども達が様々な体験を通して、主体的に学ぶ機会とする。
- ②共同で学習や作業することで社会性を身につける。
- ③学校や学年を超えた交流や仲間づくりを図る。
- ④講師に自主学習グループの会員等を活用し、子ども達と地域の大人たちとの交流を図る。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区に在住・在学の小中学生

周知方法：チラシ配布（地区内小中学校）、ホームページ、公民館報

受付：ホームページのフォーム、窓口、電話

延べ参加者数：362人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/25（火） 7/26（水） 9:00～11:00	「夏の絵画教室」 ～水彩画やポスターを 描いてみよう！～ 下絵（25日）、色塗り（26日）	講義 実習	桂萱学習グループ 桂の会（2名×2日） 前橋東高校美術部8名 学生ボランティア1名	①41 ②41
2	7/26（水） 14:00～16:00	「サイエンス教室」 ～野菜と酵素で ロケットを飛ばそう！～	講義 実験	NPO教育支援協会 北関東スタッフ2名 学生ボランティア2名	28

3	8/1 (火) 10:00～11:30	「夏の書道教室」 ～「とめ」「はね」 「はらい」をマスター しよう！～	講義 実習	桂萱学習グループ 桂書道クラブ8名 学生ボランティア1名	41
4	8/2 (水) 10:00～11:30	「陶芸に挑戦！」 ～ オリジナルの器 (うつわ)を作ろう！～	実習	桂萱学習グループ 楽陶クラブ6名 学生ボランティア1名	22
5	8/2 (水) 8/3 (木) 13:30～15:00	「はじめてのプログラミ ング」(2日間) ～プログラミングの 仕組みを学んでみよう！～	講義 実習	NPO教育支援協会 北関東スタッフ2名 学生ボランティア1名 一般ボランティア1名	①30 ②22
6	8/4 (金) 9:30～11:30	「七宝焼に挑戦！」 ～キーホルダーを 作ろう！～	実習	桂萱学習グループ 桂萱七宝クラブ5名 学生ボランティア4名	18
7	8/8 (火) ①10:00～11:30 ②13:30～15:00	「わくわくクッキング」 ～おにぎらずを 作ってみよう！～	講義 実習	桂萱地区食生活改善推 進員会14名 学生ボランティア3名	①17 ②11
8	7/22・29、8/5・ 12・19・26 (全て土) 9:00～11:45	「囲碁将棋教室」 ～ 将棋や囲碁を学んで 対戦してみよう！～	実習	桂萱学習グループ 桂萱囲碁将棋クラブ 学生ボランティア2名	①11 ②22 ③18 ④12 ⑤13 ⑥15

(4) 評価と反省

夏休みの講座への関心は高く、募集前から問い合わせが多くあった。申し込みは、ホームページのフォームと電話・窓口を併用して対応し、定員を上回る申し込みについては抽選を実施した。夏休みの前半は、多くの受講生が公民館に通い、賑やかな日が続いた。受付時に「楽しみにしていた」と駆け寄ってくる受講生もいて、期待感でキラキラしていた。どの講座でも講師の説明に聞き入り、一生懸命取り組む受講生の姿がまぶしかった。多くの講座でボランティアの参加があった。今年は、地区内の前橋医療福祉専門学校の協力があり、多くの学生が参加した。受講生や学生との交流に講師のモチベーションが上がった様子で、明るい雰囲気講座が進み、よい効果が生まれたと思う。複数の講座で講師から来年度の開催に向けた前向きな提案があった。次の開催でできるだけ採用していきたい。



「絵画」色塗りをしている様子 - 118 - 「科学」野菜ロケット発射準備の様子



「書道」お手本を見ながら実践



「陶芸」焼き上がりが楽しみ？！



「プログラミング」ブロック組合せの様子



「七宝焼」釉薬を銅板に盛る様子



「料理」おにぎらず調理の様子



「囲碁将棋」将棋の対戦の様子

桂萱オータムチャレンジ講座(赤城山ろく里山学校) 1

(1) ねらい

- ①屋外での収穫体験を通じて自然に親しみ、親子の絆を深めるとともに、食への興味や関心を高める。
- ②コロナ禍を乗り越えつつある子ども達の外出の機会とする。
- ③地元の農産物生産者や他の参加者と交流を図ることにより、地域理解を深める。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区在住・在学の小中学生とその保護者 10組

周知方法：タブレット配信（地区内小中学校）、ホームページ

受付：ホームページのフォーム、電話、窓口

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/21（土） 10:00～11:00	さつまいもほり体験	実習	協力：産直「味菜」	26

(4) 評価と反省

今年度も子育てセミナーとの合同開催を予定していたが、降雨の延期により予定が合わず、子育てセミナー受講生親子は不参加となったが、オータムチャレンジ講座受講生については、都合のつく兄弟姉妹や祖父母への変更も受け入れたため、参加者数をあまり減らすことなく開催できた。例年同様、草刈やつる切りなど産直「味菜」の支援があったため、組合長の説明後すぐにマルチを剥がし掘り始めることができた。掘り進め大きいものが出現すると「うわー！大きい。」と随所で歓喜の声があがった。参加者同士で「頑張って」「大きいのがとれたね」など、にこやかに会話をする様子が見られ、クモやバッタ、アリなどの虫に時々関心を寄せながら、未就学児も小学生、中学生、高校生、父母、祖父母も様々な年代の参加者が収穫を楽しむことができた。掘り終えた後は、配布したさつまいもレシピ（健康増進課提供）を参考にして料理を作りたいとの声が聞かれ、収穫物で料理を作ることや食べることを楽しみにしながら畑を後にする参加者の姿があった。アンケート結果から参加者の満足度の高さがうかがえ、開催できてよかった。



掘り方の説明を受けます



たくさんおいもができました

桂萱オータムチャレンジ講座 2

(1) ねらい

- ①いつもとは少し違う屋外での活動を通じて、親子の絆を深めるとともに、自然への興味や関心を高める。
- ②コロナ禍を乗り越えつつある子ども達の外出の機会とする。
- ③地元の公園で活動することにより、地域理解を深める。

(2) 対象等

前橋市在住の小学生とその保護者（小学生1名と保護者1名） 8組

周知方法：チラシ（地区内小学校経由で児童に配付、窓口）

受付：ホームページのフォーム、電話、窓口

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/22（日） 10:00～11:30	荻窪公園で探検&工作 ～『たこさんのおはなしや』 でおなじみの田子先生と一 緒に公園で遊ぼう～	実習	田子 智代	8組

(4) 評価と反省

子育てセミナー向けの講座として計画したものだったが、定員に余裕があったため、地区内の小学生へ案内したところ申し込みがあり、合同開催となった。受付や講座運営で子育てセミナー運営委員の協力があった。参加者は、落ち葉やどんぐりなどを集め、思い思いに段ボールに貼り付け、シールやマスキングテープなどでコラージュするなどして、作品を完成させていた。天候に恵まれ、秋の野外を満喫しながら、学習し、同世代の親子と交流することができた。



落ち葉を集めた後、遊具前で読み聞かせ



出来上がった作品の展示

桂萱ウインターチャレンジ講座

(1) ねらい

- ①冬休みの間に、子ども達が様々な体験を通して、主体的に学ぶ機会とする。
- ②共同で学習や作業することで社会性を身につけ、学校や学年を超えた交流

や仲間づくりを図る。

③季節のイベントをより楽しむ。

④講師に自主学習グループの会員等を活用し、子ども達と地域の大人たちとの交流を図る。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区在住または在学の小中学生

周知方法：タブレット配信（地区内小中学校）、チラシ

受付：ホームページのフォーム、窓口、電話

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/23（土） 10:00～12:30	「パティシエ体験」 ～ケーキをデコレーション してみよう～	実習	元・イタリアンシェフ 大島未来	18
2	12/27（水） 9:30～11:30	「書き初め教室」 ～太筆で大きな字を書いて みよう～	講義 実習	桂萱学習グループ 桂書道クラブ6名	13

(4) 評価と反省

パティシエ体験は、小学校低学年に人気があり、申込受付開始後すぐに定員に達した。講座では、泡立てやクリームを塗ることに時間を要したが、一生懸命泡立てて、お菓子やいちごで飾り、ケーキを入れた箱を愛おしそうに抱える受講生の姿や笑顔はとても微笑ましかった。人気のパティシエ気分を味わう、小学生憧れの体験が提供できた。

書き初め教室は、講師に書く時の筆遣いを教えてもらうことで、考えながら書き進めて、だんだんと大きく力強い字が書けるようになっていく受講生が多かった。受講生に対して講師の数が多かったため、講師が一人一人をまわり、丁寧に指導することができた。



クリームを塗っている様子



デコレーションしたケーキ



講師による説明の様子



実際に書いてみます

インリーダー・育成指導者講習会

(1) ねらい

①インリーダー講習会

今年度新たに子ども会のリーダーとして期待される小学生等を対象に、「子ども会とは」「リーダーの心構え」「集会の企画や運営」等を学習し、子どもが主体となって子ども会を運営できるインリーダーを養成の一助とする。

②育成指導者（初級指導者）講習会

子どもを指導・援助する育成者の指導者講習（初級指導者認定講習）を開催し指導者としての基本的な知識や技術の習得を図る。

(2) 対象等

桂萱地区内の子ども会に所属している子どもたちや育成会の保護者を対象

参加者：インリーダー講習 17人・育成指導者講習 8人

(3) 内容 開催日：7月9日（日） 午前9時～午後3時

概 要			
時 間	インリーダー講習会（子ども）	時間	育成会指導者講習（大人）
9：00～	■受付開始		
9：30～	■開会式（内容説明等）		
9：40～10：10	■講習 【ホール】 ・KYT 講習（危険予知訓練トレーニング） 講師 市子連役員、桂子連役員	9：40～10：30	■講習Ⅰ 【会議室】 「メディア（ケータイ・スマホ）の使い方を考えよう！」 講師 前橋市教育委員会 教育支援課職員
10：15～11：00	■調理実習 【調理実習室】 ・カレー作り		
11：10～11：40	■実技講習 【ホール】 ・すぐに役立つレクリエーション 講師 市子連役員、桂子連役員	10：40～11：40	■講習Ⅱ 【会議室】 ・KYT 講習（危険予知訓練トレーニング） 講師 市子連役員、桂子連役員
11：50～12：40	■昼食・交流会 【会議室・ホール・公民館敷地内等】 ※お昼は、調理実習で作成したカレーになります。		

12:45～14:40	■実習 ウォークラリー 桂萱公民館出発― 徒歩 ―上毛電鉄(上泉駅:12:52発)―電車―(江木駅:12:59着) ※ウォークラリー CP1～CP5 (☆途中 飲み物を用意します) →全チームが桂萱公民館着
14:50～15:00	■閉会式 子ども会インリーダー講習会 修了証・参加証の交付 ※育成指導者講習修了証については前橋市生涯学習課より届き次第交付します。

※講習Ⅰ「メディア(ケータイ・スマホ)の使い方を考えよう！」

スマートフォンや携帯ゲーム機等でのインターネット利用の便利さと、利用により失ってしまうもの、ケータイやインターネットの利用に必要な力について学びます。

(4) 評価と反省

インリーダー講習会は、毎年参加してくれる子どもも多く高学年が低学年の面倒をみながら講習会へ参加してくれたため、参加者みんなが一日を通して講師の話を真剣に聞きとっており学習態度はとても良好でした。

今回の育成指導者講習会は、まえばし出前講座を活用した「メディア(ケータイ・スマホ)の使い方を考えよう！」との演題で教育支援課職員による講座を行い、子どものスマホの使用の現状や懸念されること、親の心構えなどについての説明を参加者は真剣に受講していました。また KYT 講習など子どもと大人のそれぞれの講座やウォークラリーを通じて、活動の中での危険な事やケガの予防知識の習得、みんなで協力して問題を解いたりするなどを通じてこれからの子ども会活動に必要な基礎を学んだ充実した講習会となりました。

子どもたちには、インリーダー講習を通して、自分たちが主体となって子ども会を運営していくための知識や技術を学び、これから積極的に子ども会のリーダーとして活躍してもらいたい。

大人たちには、育成指導者講習を通して指導者能力の向上を図り、その能力を日頃の育成会活動において発揮してもらいたい。

今後は、参加者のニーズに応じて内容の充実を図り、指導者養成、リーダー養成に努めていきたい。

●インリーダー講習会



Y T講習：危機予知訓練トレーニング



すぐに役立つレクリエーション



調理実習



出来上がったカレーライス

●育成指導者講習会



講習「メディアの使い方」



KY T講習：危機予知訓練トレーニング

●実習 ウォークラリー



桂萱公民館出発



上電で江木駅へ移動



チェックポイント



ウォークラリーゴール

6 東公民館

青少年体験・チャレンジ活動「育成指導者講習会(育成会役員対象)」

(1) ねらい

子どもたちの自発性や創造性を生かしつつ、これを見守り、指導助言していく子ども会育成指導者を組織的に養成し、その資質向上を図ることにより子ども会の活動を一層充実させ、進行発展を図ることを目的とする。

(2) 対象等

対象：東地区子ども会育成団体連絡協議会 各町育成会役員、本部役員

周知方法：育成会長会議に参加希望資料配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	4/15（土） 10:00～11:40	危機予知トレーニングについて レクリエーション	講義 実習	市子連 岡本先生、浅原先生	32

(4) 評価と反省

初めに「子ども会活動は親が楽しまなければ子どもも楽しめない。大変だと思いますが楽しんでください。」と伝えた。KYT講習会では命を守る安全教育として話され、KYTシートを使ってどこが危険か、注意点等を受験生に発表させました。休憩をはさんで実技講習会では、じゃんけん大会等、簡単に和ませた後、バルーンアートで「ねずみ」「犬」の作り方を教わりました。時間がないので「花」「剣」の作り方をしているのみでしたが、子ども達が喜ぶのは「剣」だということです。最後に、「飛ぶネズミ」で的当てゲームを行い、とても盛り上がりました。その後も、じゃんけん大会を実施し、先生の作ったものを配布しました。大人もとても喜ぶ講習会で、これからの各町の子ども会行事に役立てればと思います。



KYT講習会の様子



バルーンアート講習会

青少年体験・チャレンジ活動「インリーダー講習会」

(1) ねらい

小学校5、6年生を対象に野外での共同生活を通じて、団体活動を経験するとともに、子ども会リーダーとしての資質の向上を図ることを目指します。

(2) 対象等

対象：東地区内の子ども会 小学生5年生、6年生

周知方法：子ども会育成会を通じてチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/8（土） 8:30～ 9:05 9:10～12:00	インリーダー講習会 「KYT講習会」 「ワックスボール （キャンドル作り）」	講義 実習	市子連 岡本、真下、浅原先生 東地区子育連本部役員 他	60

(4) 評価と反省

KYT講習会で火の取り扱い方など、市子連の先生が模造紙に書いたイラストで、丁寧に説明をし、子どもたちも理解できた様子でした。

曇りだったが雨の予報だったので、公民館のホールを利用してワックスボールづくりを行った。湯せんは軒下で行った。レクリエーションでは外で先生と鬼ごっこをして楽しんでいた。その間に、ホールの片づけを行ったので解散時間の短縮が図れて良かった。外は蒸し暑かったので冷房が効いている部屋を利用出来て良かったと思う。



KYT講習会の様子



外で鬼ごっこ

青少年夏休みチャレンジ教室「寺子屋スロー数学」

(1) ねらい

- ①小学校5年生～中学2年生に向けて学校では体験出来ない数学の世界を紹介することで、算数好きな子供達になお一層の興味、向上心を持たせる。
- ②ご家族での参加なので、保護者の方に子供達の探求心、追究心を一緒に感じてもらう。また、子供達の粘り強い心の成長を養い、今後の学習の一助とする。

(2) 対象等

対象：東地区在住の小学生5年生、6年生と中学校1・2年生（保護者も参加可）

周知方法：公民館報、学校へのタブレット配信で募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/30（日） 10:00～11:30	寺子屋スロー数学 「無限という不思議な森の中へ」	講義 実習	群馬高専 名誉教授 斎藤 斉	6

(4) 評価と反省

講師の斎藤先生が数学者として道を歩むきっかけになったといってもよい小学生の頃に出会った算術の問題をベースに、数学における「無限」の世界というものに子供たちを導いてくれたように感じた。代表的な「のびつづける木」という問題では、当初1mの木が毎年少しずつのび続けるが、限りなく2mまではのびるものの、決して2mにはならないという数学における「無限」の世界を体験させてくれ、小学校の算術の世界から数学の世界へと子供たちの心を導くきっかけになったように思う。ちょっと難しく感じた子もいたようだが、数学の世界に興味を持つきっかけになればいいと思う。



講座の様子



講座の様子

夏休み青少年チャレンジ教室「絵画教室」「読書感想文教室」

(1) ねらい

- ①小学生児童を対象として、地元学生の協力のもと夏休み中の課題学習の場を提供し、苦手課題の克服の仕方を習い、自らの感性を養う。
- ②教室を通して学校、学年そして世代間の枠を超えた協調と礼儀を養うことを目的とする。
- ③今回の講座「夏休みのドリル・宿題を仕上げよう」については、群馬医療福祉大の学生企画によるもので、講師役の学生達も、企画力、指導力等、学ぶことが多く、ボランティアを通じて地域子供達との世代間交流も深める。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生児童を対象とする。

周知方法：公民館報、市ホームページ、学校へのタブレット配信で募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/8（火） 9:30～11:30	夏休みの宿題手助け教室 「絵画の部」	実習	群馬医療福祉大学の 学生 12名	18
2	8/8（火） 9:30～11:30	夏休みの宿題手助け教室 「絵画の部」	実習	群馬医療福祉大学の 学生 6名	17
3	8/9（水） 13:30～15:30	夏休みの宿題手助け教室 「読書感想文」 4～6学年対象	実習	群馬医療福祉大学の 学生 4名	5
4	8/10（木） 9:30～11:30	夏休みの宿題手助け教室 「読書感想文」 1～3学年対象	実習	群馬医療福祉大学の 学生 3名	8

(4) 評価と反省

「絵画の部」

昨年度まで2時間半で実施していたが、今年は2時間で実施した。低学年程飽きてしまうことが多く、また、クレヨンの作品が多いため早く作品が出来てしまうのも考えられる。12名の学生が講師として来てくれたため、そのうち2名が男子学生なので、男の子たちは喜んでいて、特に低学年の子は騒ぎだすので、相手が大変だったが、この2名がうまく沈めてくれた。

来年度はもし、実施するなら低学年、高学年に分けて、低学年は1時間半にしようか考えている。高学年は延長して3時間くらいかけて、作品を完成しているの、兄弟で出席できるのは良いが、今後考えていきたいと思う。

今年度はタブレットを持ってくる子がおらず、写真を忘れた子がいて、次の持ち物に載せようと思う。

途中、休憩も入れるが、小学生には2時間は長く感じるのだろうか……。終わっても本を読んでいる子、ドリルをする子もいるので、性格が出てくるのだと思う。

「読書感想文」

熱が流行っているのか、体調不良の連絡があった。参加する子はやる気でしっかり取り組んでいた。昨年参加してくれた子もいて、良かったと思う。

学生さんも昨年参加してくれた子もいた。ただ、絵画と異なり、子どもたちがどんな本を読んでくるのか分からず、対応はとても難しい。でも、家ではなかなか取り組めないが、こうした静かな場所を提供し、集中する時間が出来てよかったと思う。

今まで、大学で指導して下さった先生がいなくなり、教育を受けてきた学生さんがいなくなると、この教室の実施は難しいと思う。来年は少し、異なった内容で行いたいと思う。講師が3名なので、読書感想文教室は定員を少なくした。ちょうど10名前後だったのでよかったと思える。低学年の子の方が挨拶をしっかりとる。子どもはきちんとしているし、素直に対応する。大人の方がダメなのかなと思うことがある。人と関わっていると教育は大切だと思える。

①ふせんをつかって、興味深いところは書いて貼る。

②はじめ、なか、おわりを考える。

③どうして、心に残ったのかを書く。

④おわりにさいごまで本を読んで、つよく思ったことを書く。

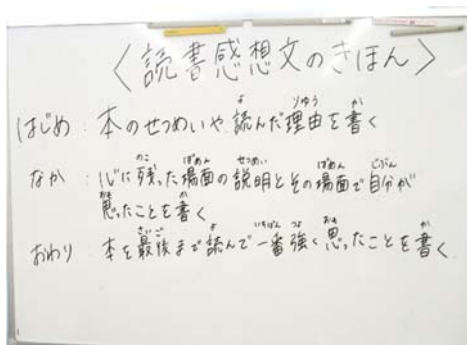
低学年の子で、やはり差があり、学習時間は1時間半程度の方が良いと本当に思った。暇つぶしのクロスワードと、大きいカレンダーの白い紙にクレヨンで描かせるのは大好評で、2時間を終えることが出来た。



絵画教室の様子



絵画教室の様子



読書感想文教室の様子



読書感想文教室の様子

青少年健全育成会事業 親子手作り教室「しめ縄づくり」

(1) ねらい

- ①昔からの伝統を受け継ぎ、季節を重んじた「しめ縄づくり」を通して、日本古来の風習を学ぶ。
- ②しめ縄づくりを通して親子の絆づくり、他の子との連携や協調性を学ぶ。

(2) 対象等

対象：東地区内の子ども及び保護者（子ども会）

周知方法：子ども会育成会を通じてチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/9（土） 9:00～11:00	親子手作り教室 「しめ縄づくり」	講義 実習	地域指導者 稲葉 武 東地区子育て連本部役員	122

(4) 評価と反省

136名の申し込みがあったが、体調不良の理由で欠席もあったが、参加率は高かったように思える。事前準備が講師や本部役員の都合で実施ができなかったが、講師がわらの準備をして下さったり、当日に教わったりして、教室を開くことが出来た。

また、東箱田後家町が今年度しめ縄づくり教室を行うということで、見学に来た方もいた。健全育成会長も子どもたちの中に入って教えてくれて、とても天気がよく、外でも行うことが出来た。朝からあわただしかったが、最後にミカンや半紙をもらって帰る時に親子共々、喜んで帰っていった。1家族1本だったが、子ども1人につき、1本くらい作っていった。

講師の後継者づくりにもなるので、子育て連の役員さんは大変だが、今後の担い手になって欲しいと思う。

※市書画展の東地区入賞者の作品を展示していたら、かなりの人が見ていった。来年もしめなわ教室まで展示が可能なら、実施していきたいと思う。



しめ縄づくりの準備の様子



講師のご紹介



作り方の説明



教室の様子

青少年健全育成会事業 移動プラネタリウム教室

(1) ねらい

- ①地域の子どもたちが学ぶ機会を設け、自ら学ぶ姿勢を身に付けること。
- ②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。
- ③子どもたちが身近にある自然に興味を持ち、面白さと大切さを知る機会を設ける。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生

周知方法：公民館報、チラシを各学校宛てタブレット配付

(3) 内容

同じ内容を全3回実施

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/2（土） 10:30～11:00	「移動プラネタリウムで 星空を観察しよう。」	講義	群馬県児童健全育成事業団 ぐんまこどもの国児童会館 移動児童館 職員2名	9
2	3/2（土） 11:10～11:40	「移動プラネタリウムで 星空を観察しよう。」	講義	群馬県児童健全育成事業団 ぐんまこどもの国児童会館 移動児童館 職員2名	9
3	3/2（土） 11:50～12:20	「移動プラネタリウムで 星空を観察しよう。」	講義	群馬県児童健全育成事業団 ぐんまこどもの国児童会館 移動児童館 職員2名	9

(4) 評価と反省

準備も片付けも、ぐんまこどもの国の職員の方が用意してくれるので、移動

プラネタリウムが出来る部屋を確保することに専念するくらいでした。

準備に1時間ほどかかるが、職員2名と共に準備し、教室開始10分前には子どもを迎えることが出来た。機材で空気を入れて、風船のようにドームを膨らまして形を保ち、入口から小さいマットを持って、一人ずつ入っていった。星空はこども公園のプラネタリウム等で見ることができるが、職員と身近に話しながら星空や星座を見るのは、とても楽しい時間を過ごすことが出来た。

急な発熱などで欠席者がいたが、参加してくれた子どもたちは大満足で帰っていった。



ドーム状の布を空気で膨らまします



マットを持って入っていきます

青少年体験・チャレンジ活動「子ども将棋チャレンジ教室」

(1) ねらい

- ①地域の子どもたちが学ぶ機会を設け、自ら学ぶ姿勢を身に付けること。
- ②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。
- ③子どもたちが身近にある自然に興味を持ち、面白さと大切さを知る機会を設ける。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生

周知方法：公民館報、チラシを各学校宛てタブレット配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/9（土） 10:00～12:00	「子ども将棋チャレンジ教室」	講義	地域指導者 田村 盛好 坂部 光夫	14

(4) 評価と反省

小学生の初心者向けの将棋教室を行ったが、低学年は2時間の学習時間は飽きてしまうのでは、心配だったが、あっという間の2時間だった。

初めはうまく出来なくて泣いてしまう子もいたが、分かるようになると対戦

相手を変えて実力をつけていった。子どもが心配でそばについていた保護者もいたが、説得して帰ってもらった後、子どももののびのびと過ごすことが出来た。心配なのはわかるが、子どもに自立させることも大切だと改めて感じた。子どもの様子を聞きに来る保護者には、安心してもらえるよう丁寧に話すよう心掛けた。「今度の教室はいつ頃ありますか。」と質問されたので講師と相談して予定していきたい。



将棋教室の様子



実力別に班をわけて対戦



年上（月齢）が駒を振ります



先生の2人指し

7 元総社公民館

プレイルーム元総社

（1）ねらい

文化的な活動や工作を通して、

- ①子どもの豊かな心を育む。
- ②学校や学年の枠を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進める。
- ③地域交流の場を提供し、地域の絆を深める。

（2）対象等

元総社地区ボランティア連絡会の協力のもと実施。各回全て、年長の幼児か

ら小学4年生までの児童を対象とし、保育所や小学校へのチラシやタブレット配付、公民館報を通して各回参加者を募集。

延べ参加者数：142名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	5/27 (土) 10:00～11:30	『スポーツ チャンバラ教室』	講義 実習	講師：大崎 美弥子 (群馬県スポーツチャンバラ協会) 元総社地区ボランティア連絡会	29
2	6/24 (土) 10:00～11:30	『こども電気教室』 ～レモン電池～	講義 実習	講師：青木 恵 ほか1名 元総社地区ボランティア連絡会	32
3	7/27 (木) 10:00～11:30	『生演奏で歌って動 いて健やか教室』	鑑賞 実習	講師：宇田 隆博 猪熊 美奈子 (職員講師による出前講座) 元総社地区ボランティア連絡会	21
4	11/18 (土) 10:00～11:30	『マジックショーと マジック教室』	鑑賞 実習	講師：ワンダー吉井 (市民講師による出前講座) 元総社地区ボランティア連絡会	33
5	12/25 (月) 10:00～11:30	『けん玉教室』	鑑賞 実習	講師：山崎 隆裕 (職員講師による出前講座) 元総社地区ボランティア連絡会	27

(4) 評価と反省

元総社地区ボランティア連絡会の協力により、幼児から小学4年生までの児童を対象とする地区行事として長年定着している。参加した子ども達は講座を通して、学年や学校区を超えて交流し、新しい交友関係を築くことができることから、子ども達も楽しみにしている。

また、元総社地区ボランティア連絡会の会員が、子ども達のサポーターとして一緒に講座へ参加することで、地元の世代間交流の場ともなっている。

対象者が幼児から児童ということを考慮し、講座内容や難易度など講師にも工夫していただいているおかげで、各回のアンケート結果から満足度の高い評価を得ているのではないかと感じる。

来年度も、ボランティア連絡会と相談しながら、子ども達のニーズに応えつ

つ、より魅力的な教室（講座）を開催できるよう努めたい。



同級生と試合
(スポーツチャンバラ教室)



レモン電池を作製中
(こども電気教室)



ドレミパイプで合唱
(生演奏で歌って動いて健やか教室)



マジックショーに参加する子ども達
(マジックショーとマジック教室)



10連大皿に挑戦！うまく乗るかな？
(けん玉教室)

元総社少年教室(夏・朝ごはん講座、しゅくだい講座、フクロウ講座)

(1) ねらい

- ①夏休み期間中の学びや体験活動を通して、学ぶことの意欲やこどもたちの自由な発想を引き出し、自らの考えを表現する力を育む。
- ②朝食の大切さを座学で知り、調理実習を通して食に対する興味を持ってもらう。

③生き物の仕組みについて感じる疑問を引き出し、その理由を考え、実際にふれあうことにより生態への理解を深める。

④学年や学校を越えた交流を通じて、コミュニケーション能力を向上させる。

(2) 対象等

①朝ごはん講座：元総社地区在住の小学生・中学生の親子

(中学生は中学生同士の参加も可)

②しゅくだい講座：元総社地区在住の小学3年生から6年生

③フクロウ講座：元総社地区在住の小学生

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/5(土) 10:00～12:40	元総社地区 食生活改善推進員 プレゼンツ 親子で朝ごはんを ちゃんと食べよう!	実習	元総社地区 食生活改善推進員	8 (4組)
2	8/8(火) 10:00～11:40	夏のしゅくだい お手伝い教室 ～書道～	講義 実習	書道あをみ会	13
3	8/20(日) 10:30～12:00	フクロウ探求・ ふれあい講座 ～オリジナル フクロ ウ図鑑を作ろう～	講義 実習	講師：あかぎふくろ う一家 川島 志保 協力者：あかぎふく ろう一家 中島 梨絵	6

(4) 評価と反省

①朝ごはん講座

4年ぶりとなる調理実習室を使用した講座となった。4組の参加となったが、規模的にはちょうどよいことが分かった。料理をするのが楽しいという感想も聞け、一緒に調理することの楽しさを学んでいる様子だった。参加者の中には、きょうだいが参加しているのを見て公民館の調理実習の講座を待っていたという参加者がいた。その希望を叶えることができたことは非常に嬉しかった。

②しゅくだい講座

開始直前になってお手本の準備が必要となりバタバタしてしまったことや、講師側とどのように進めていくのかしっかりと決めていなかったため見通しの甘さを感じたが、何とか形になった。開始後は、各テーブルに講師がついて丁寧に書き方のコツを教えていた。1時間立たずして集中力が切れて

くるため、適宜休憩を入れるよう案内した。夏休みの宿題講座は参加者が多く、自宅で行うよりもはかどったという声もあったため、来年度も引き続き行っていきたいと感じた。

③フクロウ講座

講師より、フクロウの説明に入る前に図鑑とは何か説明をしていた。事前に公民館制作の動画を見てもらうよう周知していたが、実際に視聴したか微妙な反応だったため、講座実施後に宣伝する形でもよかったと思う。過去にフクロウの講座に参加したことがある参加者がおり、リピーターがいる講座だと分かったため、次回以降は図鑑ではない形でフクロウの講座が開催でるとよいと感じた。



①生地がうまくできるかな？



①おいしく盛り付けよう！



①ピザ・サラダ・オレンジゼリーが完成！



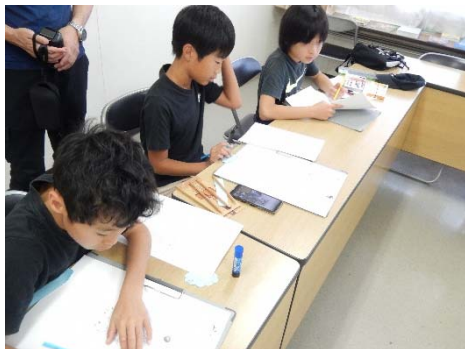
②丁寧に書こう！



②みんな真剣です。



③フクロウの生態の勉強中



③一生懸命、図鑑を作成中



③そろそろ完成！

元総社少年教室(冬・受験生応援！元総社学習室)

(1) ねらい

元総社公民館周辺には学習できるスペースが限られている。受験生にとって移動する時間も惜しいため、地域密着の公民館の部屋を学習室として開放することにより、受験を間近に控えた中学生の学びを支える。その上で、以下のねらいを持って実施する。

- ①受験生の学びの場を提供し、勉強に集中することができる。
- ②受験を目前に控え、疑問を解決することができる。
- ③受験生同士が勉強することにより、受験に対するモチベーション維持を助ける。

(2) 対象等

前橋市立元総社中学校 3年生

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/27(水) 9:00~12:00	受験生応援！ 元総社学習室	実習	地域寺子屋指導者 高井 浩子 赤石 武 赤石 邦子	9

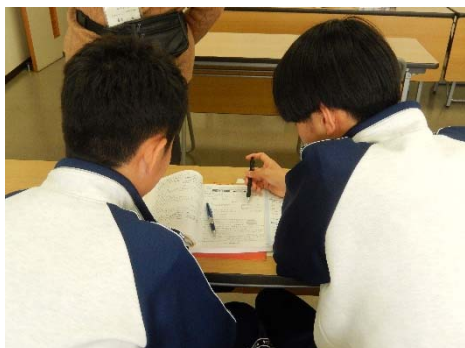
(4) 評価と反省

地域寺子屋に通う生徒の要望があつてから講座として開催することとなり、形となったことはよかったと感じた。アンケートからも「集中して勉強することができた」「また開いてほしい」という声が多くを占めた。高い満足感を得ることができた様子で勉強もはかどっていた様子である。

受験勉強に関して、学習する内容が変更されていることも踏まえて同じく地域寺子屋に協力してくれている、群馬大学の学生に講師を要請する必要があると感じた。

最後に企画担当者から一言メッセージ入りキットカットを渡した。これが、

受験へのエールになってほしいと思う。この講座が、第一志望校合格の一助となればこれ以上嬉しいことはない。



隣の友達と一緒に勉強



おなじみの先生に質問！



分からないところを一緒に克服



公民館からのチョコのエール！

8 総社公民館

サマーチャレンジ・ウィンターチャレンジ

(1) ねらい

- ①年齢や学校を越えた仲間づくりを進めるとともに、コミュニケーション力の向上を図る。
- ②学校とは異なる集団学習において、自己の考えや工夫する力を育む。
- ③様々な体験を通して、興味や関心の幅を広げる。

(2) 対象等

対象：総社地区在住の小学生（一部、保護者同伴）

(3) 内容

<サマーチャレンジ>

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/31（月） 10:00～11:30	自衛隊の訓練を体験しよう	実習	自衛隊群馬協力本部	7

2	8/2 (水) 10:00～12:00	読書感想文を仕上げよう	実習	群馬医療福祉大学生	17
3	8/3 (木) 10:00～12:00	絵画を仕上げよう①	実習	群馬医療福祉大学生	14
4	8/4 (金) 10:00～12:00	絵画を仕上げよう②	実習	群馬医療福祉大学生	17
5	8/6 (日) 10:00～11:30	寺子屋スロー数学	実習	齊藤 斉 氏	9
6	8/22 (火) 10:00～11:30	こわいお話の会	鑑賞	総社読み聞かせの会	54

<ウィンターチャレンジ>

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/25 (月) 10:00～11:30	書初め教室 (3・5年生の部)	実習	総社書道を楽しむ会 講師 大山 清 協力者 2名	14
2	12/26 (火) 10:00～11:30	書初め教室 (4・6年生の部)	実習	総社書道を楽しむ会 講師 大山 清 協力者 2名	11
3	2/23 (金・祝) 13:30～15:00	留学生と交流しよう	実習	海外ルーツの児童生徒に向けた日本語・ 学習支援教室 VAMOS 群馬大学留学生他 4名	15

(4) 評価と反省

サマーチャレンジでは、昨年度は参加者の募集に苦戦したため、地区内小学校へ声掛けをしていただくよう依頼をしたり、市内全域にチラシを配信したりするなどの工夫をした。結果として昨年度より多くの募集・参加があった。

初めて自衛隊に講座の講師を依頼した。初めてということもあり、内容は小学生の体力も考慮し控えめにしたが、小学生としては物足りない部分があったようだった。自衛官の方は小学生と積極的にコミュニケーションを取りながら講座を進めており、子どもたちも終始楽しそうにしていた。

昨年度から引き続き群馬医療福祉大学生に講師を依頼した。ZOOM を使用して打ち合わせをするなど、学生の負担軽減を目指した。講座では、子どもの目線に沿った丁寧な指導で小学生からもよく懐かれていた様子だった。

「寺子屋スロー数学」については、募集を市内全域に広げたため、15名の参加予定があったが、コロナの流行により欠席が多くなった。レベルの高い内容ながら、参加した学生は最後まで真剣に話を聞いていた。

こわいおはなしの会では、昨年度の感想を元に、講師がさらに怖い演出を考

え、雰囲気も豪華になった。しかし、まだ「怖くない」という感想もあったため、来年度の内容については、講師と相談したい。

「書初め教室」は毎年行っていて、講師も元教員の方で指導も丁寧、また全員のお手本を用意しており、協力者2名の助言も聞きながら参加者は集中して作品を仕上げていた。冬休みの宿題でもあるため、参加者の多い講座である。

公民館利用団体と協力し「留学生と交流しよう」講座を初開催した。群馬大学などの留学生を講師とし、各国の文化学習としてクイズや子どもあそびを体験した。講師も子どもも最初は緊張していたが、クイズで打ち解けて遊びの際は楽しそうに走り回っていた。

<サマーチャレンジ>



自衛隊の訓練を体験しよう



読書感想文を仕上げよう



絵画を仕上げよう①



絵画を仕上げよう②



寺子屋スロー数学



こわいお話の会

<ウィンターチャレンジ>



書初め教室（3.5年生）



書初め教室（4.6年生）

子ども会育成指導者・インリーダー研修

（1）ねらい

- ①子ども会育成指導者の能力向上を図るため。
- ②子ども会に所属する子ども達を子ども会のリーダーとして育成を図るため。

（2）対象等

対象：次年度の各単位育成会新役員及び子ども会リーダー

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	配信日 2/5（月） より	・子ども会・育成会とは ・カレ講習の事前レクチャー	オンデマンド	・地区子育連顧問 鈴木 数成	200 回
2	2/19（月） 19:00～21:00	・レクリエーション指導と その方法 ・KYT安全講習 （育成指導者講習）	講義	・地区子育連顧問 渡辺 純子	64
3	3/3（日） 9:00～13:00	・野外活動とその方法 （育成指導者講習・イン リーダー研修）	講義 実技	・地区子育連顧問 ・地区子育連役員	151

（4）評価と反省（今後実施予定のため、期待事項を記載）

2月5日（月）の講座については悪天候の為、急遽動画を作成しオンデマンド講座とした。来年度役員は60名位であったが、本年度役員にも話をし、200回近い再生回数となった。2月19日（月）の講座については、最初は参加者も固くなっていたが、講師の巧みな講習を通じ、雰囲気も和み、参加者同士の交流も深められ、今後、育成指導者としての能力を発揮してもらいたい。

3月3日（日）の野外活動は4年ぶりの開催で、日ごろ出来ない経験をしたことで、新指導者、インリーダーの子ども達も大変喜んでいて、子育連役員の準備もよく、怪我無く行うことができた。



2/19 講座より



2/19 講座より



3/3 講座より



3/3 講座より

古墳散策・総社歴史資料館見学と秋元汁づくり体験

(1) ねらい

- ①地区の古墳及び資料館の見学により郷土の歴史に興味を持ってもらう。
- ②秋元汁の作り方を学ぶことにより、郷土料理を知ってもらう
- ③地区内2校児童の交流を深める。

(2) 概要

総社小及び勝山小の5．6年生を対象とし、本事業を赤城山ろく里山学校と位置付けて実施。

(3) 内容（令和5年度は実施無し）

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11月下旬	「総社歴史資料館・周辺古墳の見学及び地区の郷土料理秋元汁づくり体験！」 （中止）	講義 実習	総社歴史資料館説明員の会 総社地区食生活改善推進員会長	—

9 南橋公民館

子ども会リーダー講習会及び育成指導者講習会 (南橋地区子ども会育成会連絡協議会共催)

(1) ねらい

①今年度、新たに子ども会リーダーとして活躍が期待される小学校5・6年生を対象に、主役となって子ども会を運営できるリーダー養成の一助とする。

②子ども会を指導・援助する育成会の講習会を併せて開催し、指導者としての基本的な知識や技術を習得する。

(2) 対象等

対象：地区の小学生5・6年生と育成会役員

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	6/11(日) 9:30～13:00	子ども会とは、リーダーの心構え、育成者の役割、危険予知トレーニング講習、ゲーム遊びの方法など 会場：公民館ホール	講義 実技	前橋市子ども会育成団体連絡協議会役員	児童5人、育成会役員7人

(4) 評価と反省

コロナ禍後数年ぶりの開催となった。当初、2日間実施して2回目はテント設営や飯盒炊さん・カレー作りの可能性も検討したが、講師の日程が取れなかったこともあり、1回の実施となり、市子連からの講師には、講義とバルーンアート・レクリエーションの実技を指導していただいた。子ども会の5、6年生児童と育成会役員の大人と一緒に場所で実施した。講師が児童の気持ちを惹きつけることに長けており、バルーンアートやレクリエーションは大いに盛り上がっていた。

南橋チャレンジ教室

(1) ねらい

学校や家庭とは違った環境で子ども達が集まる機会を設け、学校や学年の枠を超えた交流を図る。体験や学習をとおり、集中力・自主性・豊かな感性を養うと同時に新たな発見や可能性を引き出す。

(2) 対象等

対象：地区在住の園児・小学生と保護者

(3) 内容

(夏季)

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	参加者数
1	7月26日(水) 10:00～12:00	ミツロウでエコラップをつくろう(地球環境の講義含む) (4年生以上対象、保護者見学自由)	講義 実習 材料費 300円	井上 金治 (群馬県環境アドバイザー)	児童 6名
2	7月28日(金) 9:00～11:00	竹灯ろうをつくろう (4年生以上対象、保護者見学自由)	実習 材料費 1,000円	山田 裕久 (どんぐり活動家・木工コーディネーター)	児童 5名
3	8月1日(火) 9:30～11:00	トーンチャイムを演奏しよう (小学生対象、保護者見学自由)	実習	★まえばし出前講座(市民講師:ココネ・ソウネ & ミネージュ)	児童 13名
4	8月9日(水) 10:30～11:30	親子スマホ教室 (4年生以上とその保護者対象)	講義	★企業・団体出前講座(ドコモショップ前橋店)	※応募者 無く中止
5	8月10日(木) 9:00～10:00 会場:南橘中学校第二グラウンド	バニーズの選手によるサッカー教室① (小学生対象、①②の2回参加が原則、保護者見学自由)	実習 参加費 50円(保険料)	新井 純奈 新田 寿瑞 (なでしこリーグ1部参入チーム:バニーズ群馬FCホワイトスター所属選手、桂萱・南橘SC勤務)	①児童 17名
6	8月16日(水) 9:00～10:00 会場:南橘中学校第二グラウンド	バニーズの選手によるサッカー教室②	※桂萱公民館と共催		②児童 16名

(冬季)

回	月日・時間	学習主題・対象者・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	参加者数
1	12月23日(土) 10:00～12:00	電気をつくってみよう (小学3年生以上対象、保護者参加可) 【炭電池、野菜・果物電池、風力発電、水道発電、人力発電、その他】	講義 実習 持ち物: 空のペットボトル	佐藤 博士 (NPO法人太陽光発電所ネットワーク理事)	児童 8名、 園児 2名、 保護者 1名
2	12月23日(土) 13:00～15:00	どんぐり教室 (小学生対象、保護者参加可) 【どんぐりクイズ・遊び・オブジェ工作】	講義 実習 材料費 500円	山田 裕久 (どんぐり活動家・木工コーディネーター)	児童 1名、 園児 1名、 保護者 1名

回	月日・時間	学習主題・対象者・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	参加者数
3	12月26日(火) 13:00～14:00	バニーズの選手による サッカー教室① (小学生対象、2日間参加が原則、保護者見学自由)	実習 参加費 50円(保険料) ※桂萱公民館と共催	新井 純奈 新田 寿瑞 (なでしこリーグ1部参入チーム：バニーズ群馬 FC ホワイトスター所属選手、桂萱・南橘市民SC勤務) 第4回は安部由紀夏選手も参加	①児童 16名 ②児童 17名
4	12月27日(水) 13:00～14:00	バニーズの選手による サッカー教室②			
5	12月25日(月) 19:00～20:30	宇宙をかんさつしよう (小学生対象、保護者参加必要) 【国立天文台ソフト”MITAKA”で宇宙を体感&冬の星空観察】	講義 観察	岸 篤宏 (高崎市少年科学館職員)	児童 2名、 園児 1名、 保護者 2名
6	令和6年 1月14日(日) 10:00～12:00	竹でお箸をつくってみよう (小学生対象、保護者参加可) 【竹から箸を作成。時間内で何本作ってもOK】	講義 実習 持ち物：軍手 材 料 費 1,000円	山田 裕久 (どんぐり活動家・木工コーディネーター)	児童 4名、 保護者 3名

(4) 評価と反省

「バニーズの選手によるサッカー教室」(桂萱公民館と共催)については、所属選手が、南橘・桂萱両市民サービスセンターに勤務しており、サッカー専用の人工芝グラウンド(南橘中第二グラウンド)が南橘公民館の隣に在って使用可能であるという好条件に恵まれて実施が叶った(夏冬で4回実施)。ほぼ定員一杯の参加者が選手の指導のもと基礎練習と対戦試合に熱心に取り組んでいた。

その他の教室についても、身近な事物を対象として、普段できないような体験が得られるような学習内容で構成した。参加した児童や保護者からは、「楽しかった」「また参加したい」などの満足度の高い感想をいただけた。



「ミツロウでエコラップをつくろう」



「竹灯ろうをつくろう」



「竹灯ろうをつくろう」



「バニーズの選手によるサッカー教室」



「バニーズの選手によるサッカー教室」



「電気をつくってみよう」



「竹でお箸をつくってみよう」

南橘冒険遊び場

(1) ねらい

- ①子どもたちが地域の里山で学び、遊べる場所を提供する。
- ②遊びを通じた情操教育の機会を設ける。

(2) 対象等

対象：南橘地区在住の概ね小学生及びその保護者

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	内容	講師・協力者 (敬称略)	参加者数
1	8月5日(土) 10:00～12:00	ペットボトルロケットを作ろう	工作遊び	南橘地区生涯学習奨励員会	児童・保護者 13名
2	8月12日(土) 10:00～12:00	リサイクル工作	工作遊び	南橘リサイクルの会	荒天予報のため中止
3	8月19日(土) 10:00～12:00	スポーツチャンバラ	スポーツ遊び	群馬県スポーツチャンバラ協会	児童・保護者 11名

(4) 評価と反省

青少年健全育成会が主催し、生涯学習奨励員が主体となって指導する本事業は、新型コロナウイルス感染症のまん延により、令和2年度より実施を見合わせていたが、今年度より再開となった。

老朽化した設備の修繕対応や、飲食物の提供を行わない等、安全面に配慮しながらの実施となり、内容については模索している状態である。また、例年の課題として雨天や猛暑などへの対応も考える必要があるため、今後の実施内容や事業の在り方を検討していきたい。



「ペットボトルロケットを作ろう」

10 清里公民館

夏休み教室

(1) ねらい

- ①参加者が学校や国、世代を越えて交流することによって社会性と地域愛を育む機会とする。
- ②体験活動を通して、参加者の興味や関心の幅を広げ、学習内容に応じたさまざまなスキルアップを図る。
- ③学びの提供側に青少年を活用し、自己有用感を高める機会を提供する。
- ④清里生涯学習人材バンク講師の起用により地区人材バンク事業を推進する。

(2) 対象等

対象：清里地区在住の小学生等

周知方法：清里公民館報、清里小学校にチラシの配付依頼、
清里公民館内にチラシ展示配布

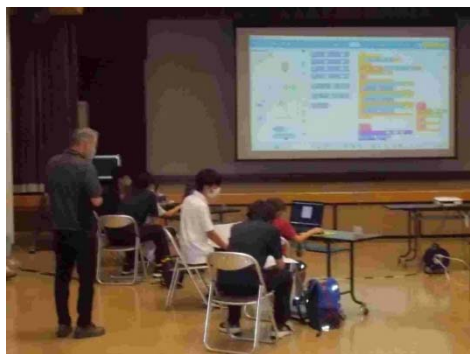
(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/25（火） 9:00～11:00	プログラミング体験／プログラミング体験車（mBot）を走らせよう①	講義 実習	清里生涯学習人材バンク 指導員 吉岡 賢治 補助者 前橋西高等学校コンピュータ科学部	3
2	7/27（木） 9:00～12:00	高校生ティーチャー講座／宿題の絵を公民館で仕上げよう！①	講義 実習	前橋西高等学校美術部	5
3	8/1（火） 9:00～11:00	プログラミング体験／プログラミング体験車（mBot）を走らせよう②	講義 実習	清里生涯学習人材バンク 指導員 吉岡 賢治 補助者 前橋西高等学校コンピュータ科学部	3
4	8/6（日） 18:00～20:00	アロマキャンドルを作って写真を撮ろう！	実習	NPO法人教育支援協会北関東 正木典子先生	25
5	8/10（木） 10:00～12:00	小学生夏休み料理教室	実習	食生活改善推進委員会 会長 櫻井登志子先生	15

6	8/16 (水) 9:00~12:00	高校生ティーチャー講座／ 宿題の絵を公民館で仕上げよう！②	講義 実習	前橋西高等学校美術部	2
7	8/16 (水) 9:00~12:00	高校生ティーチャー講座／ 宿題を公民館で仕上げよう！(書道)	講義 実習	前橋西高等学校書道部	3
8	8/16 (水) 9:00~12:00	高校生ティーチャー講座／ 宿題を公民館で仕上げよう！(その他どんな宿題でもOK！)	講義 実習	前橋西高等学校生徒会	2
9	8/19 (土) 10:00~12:00	キッズエンジニア体験！	講義 実習	群馬トヨペット	22
10	8/21 (月) 10:00~12:00	レッツ・ウインズ！ 清里公民館コンサート	講義 実習	前橋西高等学校 吹奏学部	50
11	8/21 (月) 9:00~12:00	高校生ティーチャー講座／ 宿題の絵を公民館で仕上げよう！③	講義 実習	前橋西高等学校美術部	2

(4) 評価と反省

全11回夏休み教室を企画した。参加者数は延べ132人となった。プログラミング体験は、プログラム作りを通して実習を楽しめる点が好評である。高校生ティーチャー講座は、夏休みの宿題の対策に繋がる毎年人気の講座であり、各部員は児童に一人ずつ声を掛けて回り、丁寧に教えている姿が印象的であった。教える側も指導を通じて自分自身を研鑽できたものと考えており、世代を超えての交流により社会性を育むよい機会となった。



車のプログラムの作成の講義



プログラム完成後は車の動きを確認



高校生に美術を教わっています。

清里公民館インターンシップ

(1) ねらい

- ①高校生に対し、公民館での実践的な就業体験の機会を提供する。
- ②高校生が、将来に向けて職業意識の向上及び公民館を身近に感じることで、地域に密着した公民館活動への理解促進、ひいては市政への理解を促進する。
- ③高校と公民館が連携することにより、地域交流を図るとともに、公民館活動の魅力を積極的に発信する。

(2) 対象等

対象：群馬県立前橋西高等学校の生徒

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	人数
1	7/25（火）～7/27（木） 3日間 9:00～16:00	・前橋市とは（講義） ・各種講座の手伝い ・施設見学 ・事務補助 ・成果発表	講義 実習	1
2	7/31（月）～8/2（水） 3日間 8:30～15:30	・前橋市とは（講義） ・各種講座の手伝い ・施設見学 ・事務補助 ・成果発表	講義 実習	1

(4) 評価と反省

群馬県立前橋西高等学校との連携事業で、「公民館活動及び市政に関心があり、インターンシップにおける実習を積極的に行う意思がある学生」を対象に実施した。（3年目の実施）同校は公務員への就職希望者が多く、将来に向けた職業観の醸成と貴重な体験の場となったと感じた。

希望した学生は、積極的に公民館事業の手伝いや講座で必要な案内版などを作成してくれ、ほんの一部ではあるが公務員の業務を知り、進路選択の参考と

なったという意見もあった。学校からもぜひ引き続き実施してほしいと要望もあった。多くの学生を受け入れることは難しいが、地区内の学校との良い連携事業ができたと感じた。

1 1 永明公民館

夏休み子どもステーション

(1) ねらい

- ①夏休み中に子どもたちが学ぶ機会を設け、地域の子ども達が自ら学ぶ姿勢を身に付けること。
- ②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。
また、プログラミングやモノづくり等の体験を通じ、論理的思考・アイデア実現力等の向上を図る。
- ③公民館利用団体や地域の団体を講師にすることで知の循環を図る。また、地元企業を講師にすることで、地域資源の活用を図る。

(2) 対象者

前橋市内在住の小学生を対象に実施。

延べ出席者数：213人（開設日 夏休み中の12日間）

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	7/24(月) 13:30～15:30	化学マジックにちょうせん！	1～6	実習	NPO教育支援協会北関東	30
2	8/1(火)、 8/2(水) 9:30～11:30	宿題をしあげよう！ 色ぬり教室	1～6	実習	永明水彩画クラブ	32
3	7/27(木) 9:30～12:00	お料理教室① ～いっしょに作ろう編～	1～3 保 護者	実習	永明地区食生活改善推進員会	16
4	8/10(木) 9:30～12:00	お料理教室② ～一人でチャレンジ編～	4～6	実習		15
5	8/17(木) 9:30～12:00	お料理教室③ ～親子でチャレンジ編～	1～6 保護者	実習		16

6	8/14（月） 10:00～12:00	プログラミング教室 ～レベル1～	1～2 程 度	実習	(株)ジーシーシー スタッフ	18
7	8/14（月） 13:30～15:30	プログラミング教室 ～レベル2～	3～4 程 度			18
8	8/15（火） 10:00～12:00	プログラミング教室 ～レベル3～	5～6 程 度			16
9	8/18（金） 19:00～20:15	こわ～いお話会	1～6 保護者	講座	駒形読み聞かせの 会	52

（４）評価と反省

昨年同様、抽選結果は学校へ依頼し、封書での通知とした。地区外の学校には依頼をしていなかったことから、今回は地区外の子どものみメールに通知を添付で対応とした。

今年は、化学マジックやお料理教室など、コロナ禍では避けていたグループでの活動が再開でき、お料理教室では子どもから自己紹介をしたいとの申し出もあった。子ども達や保護者が交流しながら活動をしている様子が印象的だった。

前回ホールで開催をしていた水彩画については、水道などの問題があったことから、造形創作室に場所を変更しての開催となった。洗浄場所の問題はなくなったが、部屋および机が狭く道具を広げる場所がなかったり、絵の向きによっては描きにくかったりなどの問題があったため、来年開催時には対策を考えたい。

プログラミングは３段階のレベルに分け、学生ボランティアを募集して開催した。レベル１は満足度の高いものとなったが、レベル２，３については、いずれも物足りなかった参加者が多かったように感じられた。来年以降は初級以降の開催について再検討することとする。

読み聞かせについては、講師が年々工夫してくれるため、会場に来た甲斐のある講座になっているように思う。参加方法について、席などを用意するわけではないので、申込み無しでの開催も検討したい。



化学マジックにちょうせん！



色ぬり教室



お料理教室 1



お料理教室 2



プログラミング教室



こわ〜いお話会

移動博物館

(1) ねらい

- ①子どもたちが学ぶ機会を設け、「本物」に触れる体験学習を行うことで、子どもが自ら学ぶ姿勢を身に付けること
- ②子ども達その他、地域の方々も気軽に来館でき、学ぶことが出来る場を設けること

(2) 対象者

(展示) 一般市民

(ワークショップ) 市内小中学生

延べ出席者数 1,192 人

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師 (敬称略)	人数
1	10 月 14 日 (土)、15 日 (日) 10 : 00 ~ 16 : 00	移動博物館展示 解説 (15 : 00 ~)	展示	群馬県立自然史博 物館 解説員	997

2	10月14日 (土)、15日 (日) 10:30～11:30	午前の部ワークショップ 14日「暗闇で光る！化石のレプリカを作ろう！」 15日「モササウルスの歯の立体レプリカを作ろう！」	実習	群馬県立自然史博物館 職員	102
3	10月14日 (土)、15日 (日) 13:30～14:30	午後の部ワークショップ 14日「暗闇で光る！化石のレプリカを作ろう！」 15日「モササウルスの歯の立体レプリカを作ろう！」	実習	群馬県立自然史博物館 職員	93

(4) 評価と反省

■反省事項（感想及び意見）

準備の前日に会場を押さえるのを失念してしまったため、パネル運びや机の準備を朝に慌ただしく行うことになってしまったが、職員4名が1時間程度の作業をすることで準備出来た。

ワークショップについては、小学1～3年生に保護者同伴を依頼していたが、中学生の体験者にも保護者が同伴するなど、予想よりもかなり多くの人数が部屋の中に入り、作業する会場としては少し狭かった。最近の講座では、子どもと一緒に体験や見学をしたいと申し出る保護者が多いため、今後の講座開催時には、受け入れ人数について余裕を持つようにしたい。

ワークショップの内容は、硬化時間を使用した特別解説などスムーズな進行となっており、会場での様子やアンケートからも、二日間とも子ども達が満足して帰った様子が伺えた。

展示については、新聞社への投げ込みにより展示の様子が翌日の新聞記事になったことで、問い合わせも数件あった。また、中学生がワークショップとは関係なく友達と数人で訪れていた。

展示室内を順番に回りながらクイズに回答するウォークラリーは、難易度の高いものであったが、参加証や全問正解のお菓子配付などで盛り上がっていたように思う。

未就学児等、展示をあまり楽しめない世代も来ていたが、ピカチュウの塗り絵や、アンモナイトの立体的なパズルなどが用意しており、親子で楽しんでいた様子が伺えた。また、大人でも難しい頭蓋骨の立体パズルなどもあり親子で挑戦している様子があり、全世代で楽しめる展示となっていた。

当初、駐車場の不足も予想していたが、開催時間中の他の部屋利用を遠慮いただき、不足せずに開催出来た。ただし、本来は未使用の部屋は貸出を行いたいところではあるので、駐車場については毎回懸念材料となってしまうそうだと感じた。



展示の様子



ワークショップの様子



解説員による解説



未就学児も楽しめるパズル

1 2 城南公民館

城南音楽物語12 ～シンデレラ～

ワークショップ「バイオリンケースの中をのぞいてみよう! 2」

(1) ねらい

学校や学年の異なった仲間との学校外活動に機会を提供し、仲間づくりを図る。また、下記の目的を持って開催する。

- 1 プロの演奏家によるコンサートを通じて、子供の可能性を発見する機会とする。
- 2 音楽と朗読を生で聴くことにより想像力を育む。
- 3 弦楽器を直接見て生演奏を聴きながら、プロの演奏家からオーケストラのことを学ぶ体験をすることにより、多岐にわたる価値観を培うことができる。

(2) 対象等

対象：小学校1～6年生、中学校1～3年生、保護者と未就学の弟妹も可

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/29（土） 10:30～12:00	・バイオリン、ビオラ、ピアノの演奏、朗読と大きな紙芝居で「シンデレラ」を鑑賞。 ・ワークショップでは、普段目にすることがない、バイオリンケースに収納されている小道具について、クイズ形式で説明を受けた	演奏 観賞 実演	群馬交響楽団 元楽団員 井桁 正樹 ピアニスト 峰岸 小織 朗読・イラスト 田中 美貴子	47

(4) 評価と反省

本シリーズは回を重ね12回目の開催となった。今回もシナリオと紙芝居のイラストは城南公民館のためのオリジナル作品である。

第一部の音楽物語「シンデレラ」では40分という長時間になったためか集中を切らす子どもがいたが、多くの子ども達が熱心に講師の演奏に集中していた。このシリーズでは対象児童生徒と保護者を分けて席を設けており、子ども自身の集中力を引き出せている。第二部のワークショップでは、演奏家以外普段目にすることが出来ない、バイオリンケースの中を公開いただき、子どもたちをはじめ、保護者も興味津々で説明を受けた。

アンケートでは、演奏会を楽しめたという感想が多く、紙芝居の絵についても関心を持つ子どももいて、多方面な感性を伸ばしてもらう機会を提供できたと思う。



◎会場の様子



◎第一部『シンデレラ』の様子



◎第二部『ワークショップ』の様子



◎第二部『絃は何からできているのかな』

城南音楽物語13 ～くるみ割り人形～

ワークショップ「音楽の歴史のはじまり！～バッハとヘンデル～」

(1) ねらい

学校や学年の異なった仲間との学校外活動に機会を提供し、仲間づくりを図る。また、下記の目的を持って開催する。

- ①プロの演奏家によるコンサートを通じて、子供の可能性を発見する機会とする。
- ②音楽と朗読を生で聴くことにより想像力を育む。
- ③リズムと世界の音楽とのつながりについてプロの演奏家から分かりやすく学ぶことにより、多岐にわたる価値観を培うことができる。

(2) 対象等

対象：小学校1～6年生、中学校1～3年生、保護者と未就学の弟妹も可

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/10（日） 10:30～12:00	・バイオリン、ビオラ、ピアノの演奏、朗読と大きな紙芝居で「くるみ割り人形」を鑑賞。 ・ワークショップでは、バッハとヘンデルを通して、音楽性の違いや歴史について学んだ。	演奏 観賞 実演	群馬交響楽団 元楽団員 井桁 正樹 ピアニスト 峰岸 小織 朗読・イラスト 田中 美貴子	29

(4) 評価と反省

本シリーズは回を重ね13回目の開催となった。今回の作品「くるみ割り人形」は第1回音楽物語で行ったもののリバイバル版である。

第一部の音楽物語「くるみ割り人形」では40分という長時間になったが子どもは熱心に講師の演奏や大紙芝居に集中していた。このシリーズでは対象児童生徒と保護者の席を分けて設けており、子ども自身の集中力を引き出すことも目的としている。第二部のワークショップでは、バッハとヘンデルそれぞれの生涯について学習し、2人の音楽性の違いについて実際の演奏を交えて聞きくらべを行った。

参加した子ども達からとったアンケートには演奏会を楽しめたという回答が多かった。



◎第一部『朗読と演奏』の様子



◎展示されたくるみ割り人形



◎第二部『音楽の歴史』の様子



◎第二部『会場の様子』

1 3 大胡公民館

夏休みチャレンジ教室

(1) ねらい

- ①地域における異年齢の子どもとの交流を図り、人と関わる喜びを育む。
- ②体験学習を通して、子どもたちの興味・関心を広げ、主体的に考える力や表現力を育む。
- ③ものづくりを通して、自ら考え自らつくりあげることで自己肯定感を高める。
- ④親子で食育を学ぶことで、「食」への関心を高め、食の大切さを理解するきっかけとする。

(2) 対象等

対象：大胡地区の小学生

周知方法：大胡地区内の小学校（3校）にチラシをタブレット配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/3(木) 9:00～10:30	書道教室	実習	大胡シャンテ書道 教室代表・会員	6
2	8/7(月) 9:30～11:30	サイエンス教室 ～バスボムを作ろう～	実習	NPO 法人教育支援 協会北関東	19
3	8/18(金) 9:30～11:30	木工教室 ～時計作り～	実習	厚生労働省 ものづくりマイス ター 星野 弘	15
4	8/23(水) 10:00～12:30	おやこの食育教室 調理実習(手作りピ ザ、ヨーグルトブレッシング サラダ、オレンジゼリー)	実習	大胡地区食生活 改善推進委員会	児童 8 未就学 1 保護者 6 計 15

(4) 評価と反省

「書道教室」では、当初「3・5年生の部」と「4・6年生の部」で分けて実施する予定であったが、申込者が少なかったため、3～6年生合同で実施することとなった。書道は学校の学習支援につながるものと考えられたが、定員を大幅に下回る結果となった。再度、開催方法や日程等の見直しを行うこととする。当日は6名の参加であったが、講師の熱心かつ丁寧な指導により、書道の難しさを感じながらも、うまく書けた時のうれしさや自信、楽しさ等を感じ取ったことがアンケート結果から読み取れた。

「サイエンス教室」では、20名(定員)の申し込みがあり、バスボムの人気の高さが伺えた。講座については、子どもたちが考えながら取り組めるように講師が質問しながら進め、子どもたちから出た疑問点は、みんなで考えながら答えを導いていく学習方法は非常に効果的であった。また、効果的な学習方法に加え、子どもたち自身が自ら作ることで、バスボムの学びを自分の中に落とし込むことができたのではないかと感じた。

「木工教室」では、普段ノコギリやカナヅチを使う機会が少ない中で、それらの道具を使用して時計を完成させた。子どもたちにとって、大変な作業だったかもしれないが、道具を使えたことへの自信、時計を作り上げたことへの自信につながる教室となった。また、アンケート結果では「楽しかった」、「おもしろかった」という意見が多く、ものづくりの楽しさ等を伝えられた教室となった。

「おやこの食育教室」では、部屋のテーブル数や定員数を考慮して、親子6組までの受け入れとしたが、参加者から受入人数増加の要望があったことから、次年度以降、再度検討を行うこととする。講座については、親子参加型という

こともあり、活動の様子から親子で協力しながら料理を作りあげること、より一層楽しむことができたのではないかと感じた。また、普段食べている物でも、実際に自分で一から作り、自分で作った料理を食べることで食への興味・関心を高める機会を提供することができた。



「書道」真剣に取り組んでいます



「サイエンス」バスボムできるかな？！



「木工」のこぎりに挑戦中！



「おやこの食育」親子でピザづくり♪

親子じゃがいも掘り体験(赤城山ろく里山学校)

(1) ねらい

- ①赤城山ろくでの収穫体験を通して、自然に親しみ、地域の方との交流の中でふるさとへの誇りと愛着の心を育む。
- ②自然体験活動を異年齢の子どもや地域団体が共同で行うことで、世代・地域間交流の推進を図る。
- ③収穫体験を通して野菜や食材の成り方を学び、実際に家庭で料理して食べることで、食への興味・関心を高める。

(2) 対象等

対象：大胡地区の小学生とその保護者

周知方法：大胡地区内の小学校（3校）にチラシをタブレット配付

小学1年生はタブレット未配付のため、チラシ（紙）を配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/25(日) 9:00～10:00	親子じゃがいも掘り 体験	体験	大胡地区地域づくり 推進委員会(共催)	児童 16 未就学 3 保護者 18 計 37

(4) 評価と反省

「親子じゃがいも掘り体験」は、大胡地区地域づくり推進委員会との共催で初めての企画・運営であったが、多数の参加があり、じゃがいももたくさん獲れ、参加者は収穫を楽しむことができた。

親子、特に子どもたちは次から次に出てくるじゃがいもに興奮し、見たことのない虫に驚きながら、夢中でじゃがいも掘りを楽しんでいた。自分の目で見て土や虫に触れることによって、自然を感じ、じゃがいもの色や形、匂いなどを知る機会を提供することができた。また、自分で掘ったじゃがいもを家庭で食べることで、食への興味・関心を高めるきっかけづくりとなった。



親子じゃがいも掘り体験①



親子じゃがいも掘り体験②

季節の星空観察(赤城山ろく里山学校)

(1) ねらい

- ①自然豊かな赤城山ろくでの体験活動をとおして、地域を知り愛着の心を育む。
- ②自然体験活動を異年齢の子どもや地域団体が共同で行うことで、世代・地域間交流の推進を図る。
- ③地域団体の協力により、地域で子どもを育てる機運の醸成を図る。

(2) 対象等

対象：大胡地区の小学生とその保護者

周知方法：大胡地区内の小学校（3校）にチラシをタブレット配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/20（水） 18:30～20:00	「季節の星空観察」 天体解説、天体望遠鏡による星空観望	体験	前橋市児童文化センター職員、VYS、青少推	児童 12 未就学 1 保護者 12 計 25

(4) 評価と反省

「季節の星空観察」は、当初、県の出前講座を活用し、ぐんま天文台に講師を依頼する方向で進めていたが、ぐんま天文台より赤城山ろく里山学校の講師については、主旨・目的からはずれてしまうため、引き受けできない旨の回答があった。そのため、急遽、講師実績のある前橋市児童文化センターに事情を説明し講師を依頼した結果、承諾をいただけたので、どうにか実施することができた。今後、出前講座等を申し込む際は内容説明や確認不足にならないよう注意する。当日は天候にも恵まれ、子どもたちにとって、天体望遠鏡を使用し、実際に月や星を見ることで、新しい発見や気づき等を体験できる機会を提供することができた。また、アンケート結果からは地元（大胡）で見る星空について、ほとんどの子が「とてもいいなと思った」と回答していることから、地域の良さに気づく体験にもつながった。



天体望遠鏡による星空観望①



天体望遠鏡による星空観望②

14 宮城公民館

夏休みチャレンジ教室

(1) ねらい

- ①体験学習を通して、子どもたちの創意工夫する力を養う。
- ②異学年交流をし、社会性を身につける。
- ③親子で協力することで、心豊かな親子関係を築く。
- ④人権意識の向上や郷土愛を育む。
- ⑤地元講師による学びの還元を図る。

(2) 対象等

対象：地区内の小学生

(3) 内 容

回	月 日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	7/31（月） 19：00～20：30	サマーナイト教室 「親子ヨガでリフレッシュ」	実技	地元講師 大崎かおり	10
2	8/3（木） 14：00～16：00	工作教室 「竹でけん玉を作って遊ぼう！」	実習	地元講師 三橋明彦	11
3	8/23（水） 14：00～16：00	日本画体験教室 「伝統的な和紙と布海苔を使って、団扇に絵を描こう」	実習	地域出身 日本画家 須藤和之	17
4	8/24（木） 10：00～12：00	クルマのお仕事体験 「キッズエンジニアになろう！」	実習	群馬トヨペット株式会社	10

(4) 評価と反省

親子ヨガは、地元のヨガ指導者へ講師を依頼し開催した。講師のポジティブな言葉がけと、親子でスキンシップを取りながらストレッチを行うことで参加者は終始笑顔でヨガを体験していた。内容は好評であったが今回申し込みが定員の半数以下であったため、募集方法や時間帯の設定を今後の課題としたい。

工作教室では、あらかじめ講師がカットした竹を使ってけん玉を作り上げた後、18種類の技に挑戦した。普通のけん玉より容易に技が決まるため、受講生は夢中になって練習しながら技を見せあい、自然と異学年同士の交流が生まれていた。

日本画体験教室では、地元出身の日本画家である講師から伝統的な技法を学びながら団扇を製作した。乾燥した海藻を水でふやかして接着剤にする工程や和紙を切り抜く作業等、子ども達の好奇心を刺激する内容となった。

群馬トヨペットの出前講座は、講師5人体制で参加者を2グループに分けて実施したため、タイヤ交換を含めた4種類のコンテンツをスムーズに行うことが出来た。屋外では実際にレースに参戦したラリーカーを使用し、車内構造の確認やエンジンルーム等の点検を行った。講座の最後に記念写真付きの認定証と記念品を授与があり、受講生達は達成感が得られた様子であった。



第1回 親子ヨガの様子



第2回 竹のけん玉作りの様子



第3回 団扇作りの様子



第4回 キッズエンジニア体験

親子でしめ縄かざりを作ろう

(1) ねらい

- ①体験学習を通して、子どもたちの創意工夫する力を養う。
- ②季節の伝統行事を学ぶ機会とする。
- ③地元講師による学びの還元を図る。

(2) 対象等

対象：小・中学生と保護者

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	11/25（土） 10：00～12：00	しめ縄の意味やもち米のできるまでの話、しめ縄作り	講義 実習	地元講師 北爪麻衣子	子ども 10 大人 9

(4) 評価と反省

講座では地元の米農家である講師より、前半に食育やしめ縄の由来のお話があり、後半でしめ縄飾りを作成した。本講座は今年で4年目となるが、募集前から問い合わせもあり毎回好評である。今年は講師が色々な種類の飾りを用意したため、参加者は選ぶ楽しみもあり仕上がったしめ縄飾りはどれも彩り豊かな作品となった。



しめ縄作りの土台を作る様子



完成したしめ縄飾りと記念撮影

15 粕川公民館

(1) ねらい

- ①地域における児童の間で交流を図り、人と関わることの大切さを学び協調性を育む。
- ②防災意識の高まりから、起震車による実際の地震体験を基に自らの身を守る方法について学ぶ。
- ③地元学習グループを講師に活用することで、地域交流を図り、地域のつながりをつくる。

(2) 対象等

対象：粕川地区在住の小学生

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/23（水） 10:00～11:00	防災教室	講義 体験	防災危機管理課	5
2	1/5（金） 9:30～11:30	書初め教室	実習	膳書道会	7

(4) 評価と反省

過去2年本講座の企画を行ってきたが新型コロナの影響で中止となり、本年度ようやく開催に至った。特に、地震を疑似的に体験できる「シェイクアウト号」も手配でき参加者も楽しみにしていた。しかしながら、あいにく本講座開催時間中に限って激しい雷雨に見舞われ、目玉と考えていた疑似地震体験が中止となってしまった。

講座内容は、DVD鑑賞による座学と防災マップ等を活用した学習となった。DVDでは身の回りに潜む自然災害に関する危険予知や身を守るための正し

い知識の習得、さらに防災マップを基にした学習では、自分たちの暮らす地域の現状や避難場所の確認、災害時に備えた備蓄などについて講師から丁寧に分かりやすく説明を受けた。子供だけでなく大人でもとても参考になる内容であることから、保護者の参加が叶わなかったことが残念である。防災学習は小学生の早い段階から継続的に実施していくことが重要と考えている。

書き初め教室は、新春恒例の講座で地元の書道講師による丁寧な指導もあり好評を得ている。本年度の参加者は予定定員の半分で少々残念であったが、その反面、講師の指導が参加者全員に十分に届いたと感じる。1時間の練習後にはその成果が見て取れるほどであった。なかなか自宅で条幅紙を使用して書き初めを行なうのはハードルが高いと感じる。お正月行事として今後も継続していきたい。なお次年度は中学生も参加対象として開催を検討する。



防災マップで自分の地域を確認！



起震車を体験できなかったのは残念



広いスペースで条幅紙に新年の清々しい気持ちで筆を運ぶ。上達が目に見える。



16 富士見公民館

小学生バレーボール教室

(1) ねらい

- ①学校や学年が異なる集団の中で、相互の交流や仲間作りを図る。

②地域住民との交流を深め、郷土愛を育む。

③スポーツ体験を通して広い視野や自主性を養い、積極性や豊かな感性を身に付ける。

(2) 対象等

対象：市内の小学1年生～6年生

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	6/10(土) 9:00～11:30	ストレッチ ボールに慣れる アンダーパス サーブの練習 ミニ試合	講義 実技	・富士見町体育協会 (バレーボール連盟) ・スポーツ推進委員	28
2	6/17(土) 9:00～11:30				20
3	6/24(土) 9:00～11:30				14
4	7/1(土) 9:00～11:30				19

(4) 評価と反省

今年からコロナ前の内容に戻して募集をかけたが申込者10名と定員に届かず。コロナ前は定員40名を超えるほどの人気の講座で、コロナ禍の昨年度でも定員15名を超える申し込みがあったと聞き、今年は開催できるのかと不安を覚えた。しかし、例年申込者に加えて地域のバレーボールチームに所属している児童にも参加いただいているとのことで、今年度も依頼をしたところ、どうにか定員を超える申込者数にはなった。

講師以外に、バレーボールチームの児童が協力者となることで、競技の楽しさを体験してもらうことに重点を置いた、初心者でも安心して参加できる教室内容となった。

しかし、当初の申込者数を考えると来年度の開催は検討する必要性を感じる。教室の内容、講師の指導力、バレーボールチームに所属している児童の存在は素晴らしいものである。また、この教室に参加した児童が教室終了後、地域のバレーボールチームに所属している実績を考えると、体育協会色の強い教室内容にも感じる。内容としては引き続きの開催を望むため、来年度については体育協会と調整していきたい。



夏休み子どもチャレンジ教室

(1) ねらい

- ①学校や学年が異なる集団の中で相互の交流を図る。
- ②夏季休業中に子どもたちが学ぶ機会を設け、地域の子ども達が自ら学ぶ姿勢を身に付ける。
- ③体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。

(2) 対象等

対象：富士見地区在住の小学生１～６年生（サイエンス）

富士見地区在住の小学生１～３年生（プログラミング入門編）

富士見地区在住の小学生４～６年生（プログラミング応用編）

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/28（金） 9:30～11:30	わくわくサイエンス教室 「自分だけのオリジナルスライムを作ろう！」	実習 体験	・NPO法人教育支援協会 北関東 ・富士見中ボランティア	21
2	8/1（火） 10:00～12:00	プログラミング体験教室（入門編） 「自分で描いた絵を色々動かしてみよう！」	講義 体験	（株）ジーシーシースタッフ	11
3	8/3（木） 10:00～12:00	プログラミング体験教室（応用編） 「シューティングゲームを作ってみよう！」	講義 体験	・（株）ジーシーシースタッフ ・富士見中ボランティア	19

(4) 評価と反省

これまで、この地区では夏休み期間中に合わせての教室開催はなかったとの事で、今年初めての試みとなる。学校へのチラシ配布がデジタル配信になってから参加者が減ったとの声を聞いてはいたが、ここでもその影響を受けた。なかなか参加者が集まらなかったため、再度回覧板での周知を行ったところ、申込者が増え、なんとか定員に近い人数に達することが出来た。追加申込みしていただいた保護者に話を伺ったところ、「タブレットは見ない」「回覧板を見て申し込んだ」との声が９割となり、今後の周知方法について検討が必要と感じる。

双方の教室とも、講師の進め方が、児童に「どうしたら」の部分を考えさせる内容となっているため、児童も自分で考え工夫しながら体験することができ、また、講師や周りの児童とも活発にコミュニケーションが図れていた。

アンケート結果も好評で、特にプログラミング教室では入門編・応用編共に「とてもよかった」が１００％の結果となった。

初めての試みと言えばもう一つ。中学生ボランティアを地区中学校へ依頼し、

各教室の準備から手伝っていただいた。活動の様子を見ていると、講師の指示をきちんと聞き、自分で考えながら小学生とコミュニケーションをとる姿が見られ、安心して任せることが出来た。今後も機会があればこのように中学生が活動出来る場を設けていきたい。



親子お菓子づくり教室

(1) ねらい

- ①地元の食材を利用することで、食と健康についての知識を学ぶだけでなく、地域の特産物を再認識する機会とする。
- ②親子でいっしょに調理する事で知識、技術、食事バランスなどを学ぶ。
- ③冬休み中に学校区や学年が異なる子どもたちが集まる機会を設け、地域の子どもたちの仲間づくりを図る。
- ④地域の団体を講師にすることで、地域の世代間交流を図る。

(2) 対象等

対象：富士見地区在住の小学生の親子

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/26（火） 9:30～12:30	簡単スイーツポテトパフェ、 ほうれん草と豆乳のマフィン、 りんごのゼリー	実習 体験	富士見地区食生活改 善推進委員会	28

(4) 評価と反省

初めて冬休み期間中に開催。地区内で採れる野菜を食材に使用したお菓子づくり教室を実施。夏休みでは集客に苦勞したため今回は館報にも募集記事を掲載したところ定員に達することが出来た。

コロナ後初めての開催ということもあり講師も不安を感じていたかと思うが、当日は手際よく進めていただき、かつ参加者との交流を図る姿も積極的にみられ、各班和やかな雰囲気の中で教室を進めることが出来た。全て大人がやるのではなく、子どもたちに経験・体験させながら調理を進めていただいたおかげで、子どもからも「自分たちで出来たから楽しかった」「自分たちで作ったからおいしかった」などの感想を聞くことが出来た。



ふじみフレンドシップキャンプ(赤城山ろく里山学校)

(1) ねらい

- ①他校の児童と交流を図り仲間づくりを行う。
- ②赤城山の豊かな自然を体験し、郷土愛を育む。
- ③集団生活からルールやマナー、協調性を学ぶ。

(2) 対象等

対象：富士見地区内の小学校4～6年生

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/5（土）	アイスブレイク・覚満淵散策・野外炊飯・カッター漕ぎ（風のため中止→軽スポーツに変更）	実習	・NPO法人ぐんま緑のインタープリター協会 ・富士見VYS ・富士見中ボランティア	18

(4) 評価と反省

コロナ前は例年開催していた人気の教室ということで、馴染みのあるよう、チラシはこれまでのデザインをあえてそのまま使用し募集をかけたが、こちらもデジタル配信の影響を受ける結果となった。中止するか悩んだが、再度チラ

シを学校へ配布させていただき、追加募集をかけ実施するに至った。当日は風の影響を受け、カッターの実施はやむなく中止となったが、協力者の富士見VYSと富士見中学校ボランティアの方々ののおかげで児童も楽しく過ごせたようである。

バレーボール教室同様、例年人気の教室との事で今年は実施に至ったが、あとで調べたところ、確かにH30年度までは定員40名を超える申し込みだが、H31年度は定員の20名を満たしておらず、経費等考えると今回は企画内容を検討すべきであったように感じる。また、各小学校で5年生を対象に6～8月の間に同じ赤城少年自然の家で林間学校を実施していること、子ども会で6月に宿泊キャンプを行っていることを考えると、同じ地区内でのキャンプの開催が多いようにも感じる。そのため今後はキャンプにこだわらず、教室内容を再検討していく必要があるように思われる。

